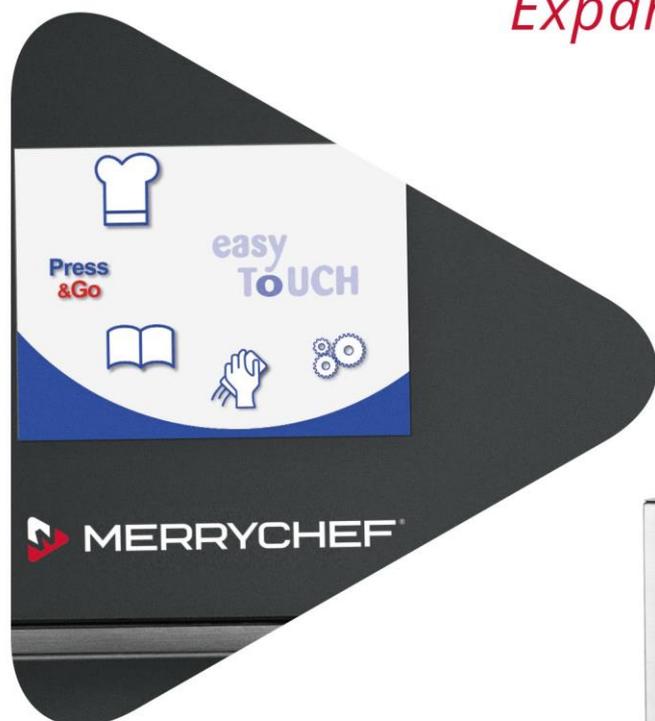


*Expanding your opportunities*



**eikon**<sup>®</sup> e2s

JA

オーブンレンジ  
設置・操作マニュアル CE - JA

部品番号 32Z3923



ご使用前に指示をよくお読み  
ください

## 重要

---

### お客様向け文書

- このお客様向け文書はオープンレンジの一部を構成します。
- 必要な情報を参照できるよう、この文書は常にお手元に保管してください。
- お客様向け文書は製品の寿命にわたって保管してください。
- 本製品の使用、取り扱い、作業を開始する前に、この設置・操作マニュアルをよくお読みください。
- オープンレンジを次の所有者へ引き渡す場合は、お客様向け文書も一緒に引き渡してください。

## 目次

<b>1</b>	<b>一般情報</b>	<b>5</b>
1.1	EC適合宣言	6
1.2	環境保護	7
1.3	重要な情報	7
1.4	オープンレンジの識別情報	8
1.5	お客様向け文書の構成	9
1.6	設置・操作マニュアルについて	9
<b>2</b>	<b>デザインと機能</b>	<b>11</b>
2.1	オープンレンジのデザインと機能	12
2.2	操作パネルのレイアウトと機能	13
<b>3</b>	<b>安全にお使いいただくために</b>	<b>14</b>
3.1	基本安全コード	15
3.2	オープンレンジの用途	20
3.3	オープンレンジの警告表示	21
3.4	危険の概要	23
3.5	装置の移動に関する危険と安全上の注意	25
3.6	装置のセットアップに関する危険と安全上の注意	26
3.7	設置時の危険と安全上の注意	27
3.8	装置の使用準備時の危険と安全上の注意	28
3.9	装置の操作時の危険と安全上の注意	29
3.10	装置の清掃時の危険と安全上の注意	31
3.11	装置の使用停止時の危険と安全上の注意	33
3.12	安全装置	34
3.13	作業者と作業位置に関する要件	36
3.14	個人用保護具	37
<b>4</b>	<b>装置の移動</b>	<b>39</b>
4.1	装置の取り扱いにおける安全	40
4.2	装置の設置場所への移動	41
<b>5</b>	<b>装置のセットアップ</b>	<b>42</b>
5.1	装置のセットアップにおける安全	43
5.2	設置場所の要件	44
5.3	装置の開梱	46
5.4	装置のパレットからの積み降ろし	48
5.5	装置の作業面への設置	48
<b>6</b>	<b>設置</b>	<b>49</b>
6.1	電気配線における安全	50
6.2	電気配線の計画	50
6.3	電気配線の要件	52

---

<b>7</b>	<b>装置の使用準備</b>	<b>54</b>
7.1	装置の使用準備における安全	55
7.2	装置の使用準備手順	57
7.3	メインメニュー画面	59
7.4	キーボード画面	60
<b>8</b>	<b>調理手順</b>	<b>61</b>
8.1	基本操作と調理手順	62
8.1.1	装置の取り扱いにおける安全	63
8.1.2	オープンの電源のオン/オフ	65
8.1.3	調理方法	66
8.2	操作手順：フルモード	68
8.2.1	プレス&ゴーメニュー	69
8.2.2	調理プロファイルの使用	70
8.2.3	調理プロファイルの作成	71
8.2.4	調理プロファイルの使用	74
8.2.5	調理プロファイルグループの管理	77
8.2.6	オープンレンジの基本設定	81
8.2.7	USBメモリの使用	89
<b>9</b>	<b>清掃手順</b>	<b>91</b>
9.1	普段の清掃作業	92
9.2	洗浄剤	92
9.3	清掃に必要な用品	93
9.4	清掃における安全	94
9.5	清掃手順	96
9.5.1	清掃前の冷却手順	97
9.5.2	清掃に関する指示	99
<b>10</b>	<b>装置の使用停止と廃棄</b>	<b>104</b>
10.1	装置の使用停止における安全	105
10.2	装置の使用停止と廃棄	106
<b>11</b>	<b>技術データ</b>	<b>107</b>
11.1	技術データ	108
11.2	寸法図	110
<b>12</b>	<b>サービス情報</b>	<b>111</b>
12.1	保証情報とカスタマーサービスへの連絡	112
12.2	故障の対応：操作中の問題	113

---

## 1 一般情報

### 本章の目的

---

本章は、オープンレンジの識別情報と本マニュアルの使用方法を説明します。

### 目次

---

本章には以下のトピックが含まれます：

	ページ
EC適合宣言	6
環境保護	7
重要な情報	7
オープンレンジの識別情報	8
お客様向け文書の構成	9
設置・操作マニュアルについて	9

## 1.1 EC適合宣言

### 製造者

---

#### 認定代理店（ブランド本社）

Welbilt UK Limited  
Ashbourne House, The Guildway,  
Old Portsmouth Road  
Guildford GU3 1LR  
United Kingdom

#### 製造施設

Welbilt UK Limited  
Provincial Park, Nether Lane,  
Ecclesfield  
Sheffield S35 9ZX  
United Kingdom

### 装置の詳細

---

一般モデル番号	eikon e2s
内容	民生用オープンレンジ

### 適合宣言内の指令と規格

---

製造業者は、本民生用オープンレンジが以下の指令と規格に適合することをここに宣言します。

### 指令への適合

---

本民生用オープンレンジは以下の欧州指令の該当する条項に適合します。

EMC 2004/108/EC	RoHS 2011/65/EU	MD 2006/42/EC
-----------------	-----------------	---------------

### 整合規格への適合

---

本民生用オープンレンジは、以下の欧州規格の該当する要件に適合します：

EN 60335-2-90:2006 +A1（付録EE、船舶甲板に関する要件を除く）  
EN 60335-1:2012  
EN 62233:2008  
EN 55014-2:1997+A2:2008、カテゴリIVの要件に適合

- 静電気放電	IEC 61000-4-2
- 放射RF妨害	IEC 61000-4-3
- 高速トランジェントコモンモード、ACポート	IEC 61000-4-4
- 主電源サージ、ACポート	IEC 61000-4-5
- RF電流、コモンモード、ACポート	IEC 61000-4-6
- 主電源電圧ディップ、瞬停	IEC 61000-4-11
- フリッカ	IEC 61000-3-11

EN 55011:2009+A1:2010分類：クラスA、グループ2

- 主電源端子妨害波電圧	表6
- 放射妨害波、磁界	表9
- 放射妨害波、電界	表9

AS/NZS CISPR 11

- 放射妨害波	CISPR 11:2009 クラスA
- 伝導妨害波	CISPR 11:2009 クラスA

## 製造者

---

発行場所および日付：ギルフォード、2015年7月31日



**Mr Philip Radford**

製品部門バイスプレジデント：Merrychef  
(認定代理店代表)

## 品質および環境管理

---

Welbilt UK Limited (Sheffield) は、EN ISO 9001:2008に適合する品質管理システムおよびEN ISO 14001に準拠する認証環境管理システムを採用しています。

## 1.2 環境保護

### 基本理念

---

当社顧客の期待、法規制、規格、当社の評判はすべて、当社のすべての製品の品質およびサービスの基礎となります。

当社は環境管理方針を掲げており、すべての環境保護に関する法規制に準拠する他、環境保護規準の継続的な改善にも尽力しています。

高品質の製品の継続的な製造に加え、環境保護目標を確実に遂行するための品質管理および環境管理システムを策定しています。

このシステムは、ISO 9001:2008およびISO 14001:2004の要件に適合しています。

### 環境保護プロセス

---

当社は以下の規程に従います：

- RoHS2準拠製品の使用
- REACH化学規制の準拠
- 電子廃棄物のリサイクル
- 各メーカーを通じた、環境に配慮した旧型設備の廃棄

環境保護の取り組みにご協力ください。

## 1.3 重要な情報

---

メンテナンスと修理は、純正Merrychef®交換部品によりMerrychef®認定のサービス業者が行う必要があります。Merrychef®は、国および地域の法令または製品付属の設置手順に従うことなく不適切に設置、調整、操作、または保守された製品、シリアル番号が汚損、消去、削除された製品、または不認定の部品やサービス業者によって変更または修理された製品については一切の責任を負いません。認定サービス業者の一覧については、最寄りの代理店までお問い合わせください。

## 1.4 オープンレンジの識別情報

### ネームプレートの位置

ネームプレートはオープンレンジの背面にあります。



#### 1 モデル番号

eikon e2s

#### 2 項目番号の内容

モデル

対流熱出力

マイクロ波出力

電源電圧

電源周波数

リード線

電源プラグ

通信機能

バージョン

付属品/顧客

地域/国

#### 3 シリアル番号の内容

製造年

製造月

製造場所

製造番号

#### 4 技術データ

#### 5 製造日

ラベル

意味

e2s

D

2200W

F

2200W / 1300W

G

2200W / 900W

B

2000W (高出力バージョン)

X

1000W (標準出力バージョン)

30

230V

MV5

220-230V / 50Hz

MV6

208-240V / 60Hz

00

200V

20

220V

5

50Hz

6

60Hz

A - Z

例: H = L+N+E (4mm EU)

A - Z

例: E = 3ピンプラグ

L

USB + LAN

U

USB

A, B

A, B (先行量産)

1,

1, 2, ... (連続生産)

2, ...

CF

「トレンド」外装

CF

「クラシック」外装

WW

特定顧客

EU

欧州

US

米国

ラベル

意味

15

2015

1

2016, ...

6, ...

01

1月

0

2月, ...

2, ...

2130

シェフィールド (イギリス)

12345

## 1.5 お客様向け文書の構成

### お客様向け文書の内容

---

オープンレンジのお客様向け文書には以下の内容が含まれます：

- 設置・操作マニュアル（本文書）

## 1.6 設置・操作マニュアルについて

### 目的

---

この設置・操作マニュアルは、オープンレンジの取り扱いに関与するすべての方を対象としており、設置、操作、清掃、簡単な修理作業を適切かつ安全に行うために必要な情報を提供します。

### 本設置・操作マニュアルの対象者

---

対象グループ名	作業内容
装置の配送業者	施設内での運搬
サービス技術者	<ul style="list-style-type: none"><li>▪ 装置のセットアップ</li><li>▪ 装置の初回使用のための準備および装置の使用停止</li><li>▪ ユーザーの指導</li></ul>
オープンレンジの所有者 または 装置を担当する所有者の従業員	<ul style="list-style-type: none"><li>▪ サービス技術者から、オープンレンジの安全に関するすべての機能と部品について指導を受ける</li><li>▪ サービス技術者から使用方法の指導を受ける</li><li>▪ 装置の施設内での運搬とセットアップにおける支援の提供</li></ul>
ユーザー	以下に列挙される特定の操作タスクを実際に実施する <ul style="list-style-type: none"><li>▪ オープンレンジに食材を入れる</li><li>▪ 調理プロファイルを開始する</li><li>▪ 食材を取り出す</li><li>▪ オープンレンジを清掃する</li><li>▪ オープンレンジ内に付属品を取り付ける</li><li>▪ 簡単な修理作業を行う</li></ul>

本書には、必ずお読みいただく必要のある箇所が含まれます。

本書の以下の指示に従わない場合、致死障害または物品損害が発生する可能性があります。

安全を確保するため、オープンレンジの取り扱いに関与する人員は全員、いかなる作業を行う場合でも、事前に本書の以下の箇所をお読みください：

- 「安全にお使いいただくために」（14ページ）
- 行うべき作業の内容が記載されたセクション

### 本設置・操作マニュアルの章

---

章/セクション	目的
一般情報	<ul style="list-style-type: none"><li>▪ 装置の識別方法を示します</li><li>▪ 本設置・操作マニュアルについてのガイドを提供します</li></ul>

---

章/セクション	目的
デザインと機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>装置の使用目的を解説します</li> <li>装置の機能を紹介し、部品の位置を示します</li> </ul>
安全にお使いいただくために	<ul style="list-style-type: none"> <li>装置の危険について説明し、適切な回避方法を紹介します</li> <li><b>本章の内容をよくお読みください。</b></li> </ul>
装置の移動	<ul style="list-style-type: none"> <li>装置の基本寸法を示します</li> <li>装置の設置場所の要件を示します</li> <li>装置を設置場所に運搬する方法を解説します</li> </ul>
装置のセットアップ	<ul style="list-style-type: none"> <li>装置の開梱方法を紹介し、付属部品を示します</li> <li>装置のセットアップ方法を説明します</li> </ul>
設置	電源の設置情報を提供します
装置の使用準備	初回使用前の準備手順を示します
調理手順	<ul style="list-style-type: none"> <li>オープンレンジの電源を入れる方法を説明します</li> <li>調理中の作業手順に関する指示が含まれます</li> <li>調理中に頻繁に使用するオープンレンジの操作方法が含まれます</li> </ul>
清掃手順	<ul style="list-style-type: none"> <li>清掃手順が含まれます</li> <li>洗剤剤について説明します</li> <li>清掃中に頻繁に使用されるオープンレンジの操作方法が含まれます</li> </ul>
装置の使用停止と廃棄	<ul style="list-style-type: none"> <li>装置の使用停止手順を示します</li> <li>廃棄情報が含まれます</li> </ul>
技術データ	技術データと寸法図が含まれます
サービス情報	故障やエラーの可能性と、必要な対応策が含まれます

## 安全警告シンボル

安全警告シンボル	意味
	怪我の可能性を警告します。怪我や死亡事故の可能性を防ぐため、このシンボルの後に表示されるすべての警告通知に従ってください。

## 警告通知の種類

警告通知は以下の危険レベルに応じて分類されています：

危険レベル	結果	可能性
 <b>DANGER</b>	死亡/重傷（不可逆的）	差し迫った危険
 <b>WARNING</b>	死亡/重傷（不可逆的）	潜在的な危険
 <b>CAUTION</b>	軽傷（可逆的）	潜在的な危険
注意	装置への損傷	潜在的な危険

## 小数点

すべての言語のバージョンで、本マニュアルには小数点形式が採用されています。

## 2 デザインと機能

### 本章の目的

---

本章は、オープンレンジのデザインと構成および機能について説明します。

### 目次

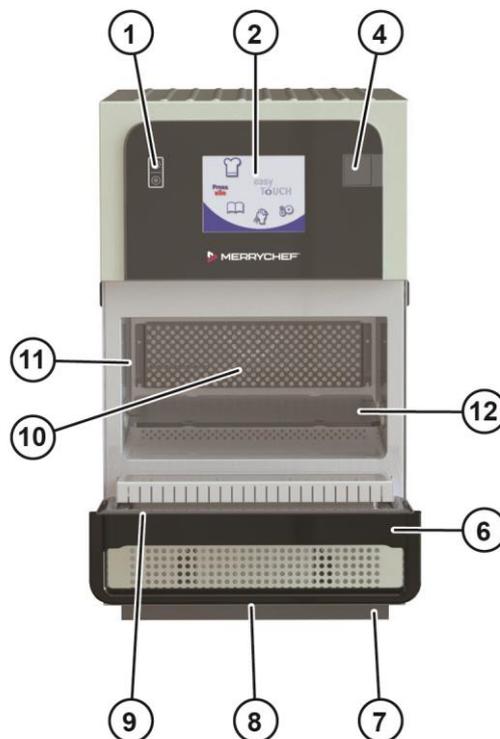
---

本章には以下のトピックが含まれます：

	ページ
オープンレンジのデザインと機能	12
操作パネルのレイアウトと機能	13

## 2.1 オープンレンジのデザインと機能

### 各部とその機能



項目	名称	機能
1	装置のオン/オフスイッチ	オープンレンジの電源をオンまたはオフにします。 このスイッチをオフにしても、装置は電源系統から遮断されません。
2	easyToUCH®画面制御パネル	装置の電源が入ると、easyToUCH®画面にユーザーインターフェースが表示されます。 詳細は「調理手順」(61ページ)を参照してください。
3	ネームプレート (図示されていません)	装置のリアパネルに取付けられたネームプレートは、シリアル番号、モデル名、電気仕様を示します。
4	USBポート	カバー下に取付けられたUSBソケットにより、装置に保存されたプログラムを更新できます。 USB MenuConnect® のユーザーマニュアルを参照してください。 調理プロファイルの更新方法については、本マニュアルの「調理手順」セクション(61ページ)を参照してください。
5	排気口 (図示されていません)	内部部品の冷却空気と調理室内の蒸気は、装置背面にある排気口を通じて排出されます。マイクロ波エネルギーが排気口を通じて装置外に漏れることがないように、排気口を塞がないでください。
6	装置のドア	ドアは高精度のエネルギー遮断機能と、3つの電子レンジ用安全インターロックを備えています。常に清潔に保ち、重い物体を乗せないでください。 「調理手順」(91ページ)を参照してください。
7	エアフィルター	装置の前方下部に設置されたエアフィルターは換気システムの一部です。障害物を取り除き、「清掃手順」、91ページの指示に従って日常清掃を実施してください。装置はエアフィルターが装着されない限り動作しません。

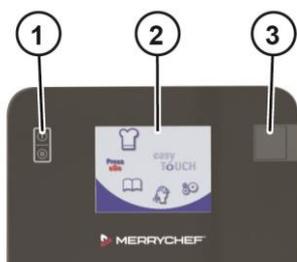
項目	名称	機能
8	ドアハンドル	ドアハンドルは高剛性のバーで、装置の下方前方に引いてドアを開けるために使用します。
9	ドアシール	ドアシールはドア周辺をしっかりと密閉します。常に清潔に保ち、破損していないかどうか定期的に点検してください。摩耗の兆候が見られた場合には、直ちにMerrychef認定のサービス業者に交換を依頼してください。 「調理手順」(91ページ)を参照してください。
10	散気装置 (一部の装置には装着されていません)	散気装置は清潔に保ち、汚れがないようにしてください。装置のこの箇所を清掃する場合は細心の注意を払ってください。本マニュアルの「清掃手順」(91ページ)に示される要件に従ってください。
11	調理室	調理室(調理チャンパー)はステンレス鋼製で、調理用に使用されます。本マニュアルの「清掃手順」セクション(91ページ)の清掃指示に従い、清潔に保ってください。
12	調理プレート	調理プレートは、四角形の平らなプレートで、オープン庫内のサポートスタブ部品に簡単に取り付けられるように各辺に丸いへこみがあります(各辺に2つ)。調理プレートの両面を調理にお使いいただけ、すべての辺がサポートスタブ部品にフィットするよう設計されています。

## 材質

装置の内装と外装構造は、ブラシ加工または色分けされたステンレス鋼で構成されています。

## 2.2 操作パネルのレイアウトと機能

### 各部とその機能



項目	名前	機能
1	装置のオン/オフスイッチ	オープンレンジの電源をオンまたはオフにします。
2	タッチスクリーン	装置の中央制御を司ります <ul style="list-style-type: none"> <li>▪ タッチスクリーン画面のアイコンにタッチして装置を操作できます</li> <li>▪ ステータスを表示します</li> </ul>
3	USBポート	USBメモリを接続します

## 3 安全にお使いいただくために

### 本章の目的

---

本章は、ユーザーおよび他の作業者を危険に晒すことなく、オープンレンジを安全に使用するために必要なすべての情報が記載されています。

本章は特に重要であるため、よくお読みください。

### 目次

---

本章には以下のトピックが含まれます：

	ページ
基本安全コード	15
オープンレンジの用途	20
オープンレンジの警告表示	21
危険の種類	23
装置の移動時の危険と安全上の注意	25
装置のセットアップ時の危険と安全上の注意	26
装置の設置時の危険と安全上の注意	27
装置の使用準備時の危険と安全上の注意	28
装置の操作時の危険と安全上の注意	29
装置の清掃時の危険と安全上の注意	31
装置の使用停止時の危険と安全上の注意	33
安全装置	34
作業者と作業位置に関する要件	36
個人用保護具	37



## 3.1 基本安全コード

### 基本安全コードの目的

---

本安全コードは、オープンレンジのすべてのユーザーが危険と安全上の注意事項を深く理解し、本設置・操作マニュアルおよび装置上の警告表示に確実に従うことを目的としています。この安全コードに従わない場合、致死傷害または物品損害が発生する可能性があります。

### 本設置・操作マニュアルの参照

---

以下の指示に従ってください：

- 「安全にお使いいただくために」(14ページ)の章全部、および作業に関連するその他の章をすべてお読みください。
- 本設置・操作マニュアルは、常に手元に置いて参照してください。
- 本装置を譲渡する場合は、本設置・操作マニュアルも譲渡してください。

### 作業者の個人用保護具

---

関連する作業について、「安全にお使いいただくために」の「個人用保護具」(37ページ)で指定された適切な個人用保護具を着用するよう、作業者に指示してください。

### 設置の基本原則

---

設置は、国および地域の法律および規制、関連する公益事業会社と地方自治体の地域の規制、その他該当するすべての要件に従って行う必要があります。

### オープンレンジの操作

---

以下の指示に従ってください：

- 本設置・操作マニュアルに規定される要件をすべて満たす作業者のみが、本オープンレンジを使用できます。
- オープンレンジは、指定された目的のみに使用してください。いかなる状況においても、オープンレンジは他の目的には使用しないでください。
- 本設置・操作マニュアル、およびオープンレンジに関するすべての安全注意事項に従ってください。特に、記載された個人用保護具を着用してください。
- 指定された作業場所以外の場所には立たないでください。
- 部品の取り外しや不認定部品の取り付けなど、オープンレンジにはいかなる変更も加えないでください。特に、安全装置は絶対に解除しないでください。

## 重要な安全に関する指示

---

電気機器を使用する際には以下を含む基本的な安全指示に従ってください：

**警告** - 火傷、感電、火災、身体傷害、過度のマイクロ波エネルギーへの暴露を避けるため、以下の指示に従ってください：

- 装置の使用前にすべての指示を読んでください。
- 付属の設置指示に従うことなく装置を設置しないでください。

### 使用に関する制限

- オブレンジに使用できる調理器具のみを使用してください。「装置の使用準備手順」を参照してください。
- 本装置では、腐食性の化学薬品または気体は使用しないでください。この種のオーブンは、食品の加熱、調理、トーストのみを目的として設計されています。産業用または研究用には設計されていません。
- 装置でアルコール（ブランデー、ラムなど）を加熱しないでください。アルコールを含む食品は、過熱すると火災を起こしやすくなります。注意深く扱い、使用中の装置から目を離さないでください。
- オブブン内では揚げ料理は行わないでください。
- 殻付きの生卵と固茹で卵は電子レンジで加熱しないでください。電子レンジの加熱が終了した後でも爆発する可能性があります。
- 電子レンジのみまたはコンビネーション機能を使用して、調理チャンバー内に食材や液体を入れない状態で装置を操作することは避けてください。過熱による故障の原因となります。
- 装置を衣類の乾燥に使用しないでください。
- **警告**：蒸気の滞留または爆発の可能性があるため、液体およびその他の食材を完全密閉の容器内で加熱しないでください。
- ドアに異物が挟まった状態、ドアがしっかりと閉じられていない状態、ドア/ヒンジ/ラッチ/シーリング表面の破損、オブブン内に食材を入れない状態で装置を操作しないでください。

### オーブンレンジを使用する際の注意事項

- **警告**：飲料を電子レンジで加熱すると、しばらくしてから強烈な沸騰が生じる場合があります。このため、容器は注意深く取り扱ってください。
- 熱い液体、食材、容器を取り扱う際、火傷や炎症を避けるよう注意を払ってください。
- あらゆる調理装置と同様、装置内の物体が燃えないように注意を払ってください。

## オーブンレンジの安全な使用法

- 電子レンジのみまたはコンビネーション機能を使用して液体を加熱する際、強烈な沸騰を避けるため、食品を事前に攪拌してください。
- **警告：** 哺乳瓶やベビーフードの内容物は攪拌または振っておく必要があります。また、火傷を防ぐために消費前に温度を確認してください。
- オーブンまたはコンビネーション機能を使用する場合には、容器を覆わないでください。
- 「ロースト」中、およびオーブンから重い容器を取り出す前に、過度の脂肪分を取り除いておいてください。
- 皮のある食材（ジャガイモ、リンゴ、ソーセージなど）は加熱前に皮をむいてください。
- 食材をプラスチックや紙の容器内で加熱する場合、発火する可能性があるためオーブンを観察してください。
- プラスチックや紙の容器内の食材は、発火の可能性を防ぐため、事前に電子レンジ/オーブンに対応した容器へ移し替えてください。
- オーブン内でガラスが割れたり破損した場合は、食材内からガラスの破片をすべて取り除いてください。懸念がある場合、事故が発生した時点でオーブン内に存在した食材はすべて破棄してください。
- 一日の調理がすべて終了した後は、装置の電源をオフにしてください。

## 操作者が従うべき要件

- 本装置は身体の五感、心的能力、経験、知識に劣る（子供を含む）方による使用は意図されていません。ただし、装置を安全に使用し、危険の可能性について理解する上において監督または指導が提供されている場合を除きます。子供は装置で遊んではなりません。子供は清掃およびユーザーメンテナンスを行うことはできません。
- **警告：** マイクロ波エネルギーへの暴露から保護するカバーのいずれかを外す保守または修理作業は、有資格者以外が行うと危険です。「**操作者と作業位置に関する要件**」（36ページ）を参照してください。

## オーブンレンジの操作条件に関する要件

- すべての電気装置と同様、1年に少なくとも一度は電気接続を点検してください。
- 本装置は接地する必要があります。適切に接地されたコンセントにのみ接続してください。「**電源配線の計画**」（50ページ）を参照してください。
- 装置の外装は絶対に取り外さないでください。

- 装置の固定された内部部品は絶対に取り外さないでください。
- 制御パネル、ドア、シール、あるいは装置のその他の箇所は絶対に改ざんしないでください。
- 装置のいかなる場所にも、布巾や衣類を掛けしないでください。
- **警告：** ドアやドアシールが破損した場合、資格を有する方が修理するまで装置を作動させないでください。「**操作者と作業位置に関する要件**」(36ページ)を参照してください。
- 装置は、エアフィルターが装着されない状態で作動させないでください。
- 電源コードが破損した場合、危険を避けるため、製造業者、製造業者のサービス業者、または同様の有資格者に交換を依頼する必要があります。

### オープンレンジの操作環境に関する要件

- 装置の上部には最低50mm (2インチ) の隙間を設けてください。
- 装置脇の床は滑りやすくなっている場合があります。こぼれた液体は直ちに拭き取ってください。
- 本装置は、海上や自動車など、移動環境における使用は意図されていません。

### 清掃に関する要件

- 装置は定期的に清掃し、食材の残留物はすべて取り除いてください。
- 装置の調理室とドアシールは頻繁に清掃する必要があります。装置が清潔に保たれない場合、表面が劣化して装置寿命に悪影響を与え、危険な状況の原因となります。
- 装置は噴射水で清掃しないでください。
- ドアシール、調理室、付属部品の詳細は本マニュアルの「**清掃手順**」セクションに記載されています。
- 装置は、メンテナンスと部品交換の際には電源接続を外す必要があります。日常の清掃作業の際に、電源と装置との接続を外す必要はありません。
- ドアを閉じる際に密着するドアとオープンの表面の清掃については、本マニュアルの「**清掃手順**」(91ページ)のドア表面の清掃指示を参照してください。

### 緊急時の指示

- 煙が発生した場合には装置の電源をオフにしてください。電源コードを外すか、コードから電源を分離し、完全に消火させるためにドアを閉じたままにしてください。

これらの指示を保管してください

その他の関連情報

---

**関連トピック**

▷ 危険の概要	23
▷ 装置の操作時の危険と安全上の注意	29
▷ 装置の清掃時の危険と安全上の注意	31
▷ 装置の移動に関する危険と安全上の注意	25
▷ 装置のセットアップに関する危険と安全上の注意	26
▷ 設置時の危険と安全上の注意	27
▷ 装置の使用準備時の危険と安全上の注意	28
▷ 装置の使用停止時の危険と安全上の注意	33
▷ 安全装置	34
▷ 作業者と作業位置に関する要件	36
▷ 個人用保護具	37

---

## 3.2 オープンレンジの用途

### オープンレンジの用途

---

オープンレンジは、以下に記載した目的以外には使用しないでください：

- オープンレンジは、製造業者により認定された容器内の食材類を調理する目的のみに設計、製造されています。電子レンジ、オープン、インピンジメントはこの目的で使用されます。
- オープンレンジは業務用、民生用です。

### 使用に関する制限

---

一部の材料はオープンレンジでは加熱できません：

- 乾いた粉や粒状の素材
- 高可燃性の油、脂肪、布（ふきん）など、270° C / 518° F以下の発火点を持つ高可燃性の物質
- 密閉された缶または瓶に入った食材

### 操作者が従うべき要件

---

- オープンレンジは、以下に記載される要件を満たす作業者のみが操作または設置することができます。トレーニングと資格要件については、「**操作者と作業位置に関する要件**」(36ページ)を参照してください。
- 作業者は、重い物体の取り扱いに関するリスクと規制を理解する必要があります。

### オープンレンジの操作条件に関する要件

---

- オープンレンジが本マニュアルに記載された通りに正しく輸送、セットアップ、設置、操作準備が行われ、作業者が動作条件を確認していない限り、オープンレンジを操作してはなりません。
- オープンレンジは、すべての安全機構と保護機器が取り付けられ、適切に動作しており、所定位置に正しく固定されていない限り、操作してはなりません。
- オープンレンジの操作とサービスに関する製造業者の規定を守る必要があります。

### オープンレンジの操作環境に関する要件

---

オープンレンジの操作環境規定：

- 室温 +4° C / 40° F ~ +35° C / 95° F
- 毒性、または爆発の可能性がある環境に置かないこと
- 事故発生リスク低減のため、キッチンの床は乾燥させること

装置の設置場所に関する規定：

- 装置の真上には火災報知器やスプリンクラーシステムを配置しないでください
- 装置の頭上、上、下、近辺には可燃性の物質、気体、または液体を配置しないでください
- オープンレンジが傾いたり滑ることがないように、設置場所でセットアップが行えるようにしてください。支持面は、これらの要件を満たす必要があります。

使用に関する必須の制限事項：

- 装置は屋外で操作しないでください。また、使用中に傾いたり動くことがあってはなりません。

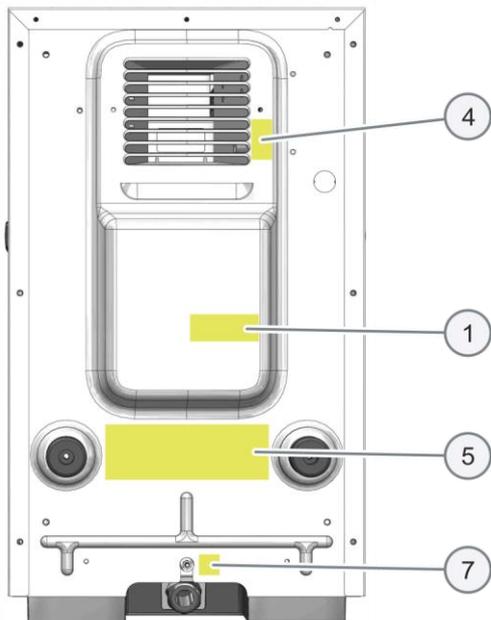
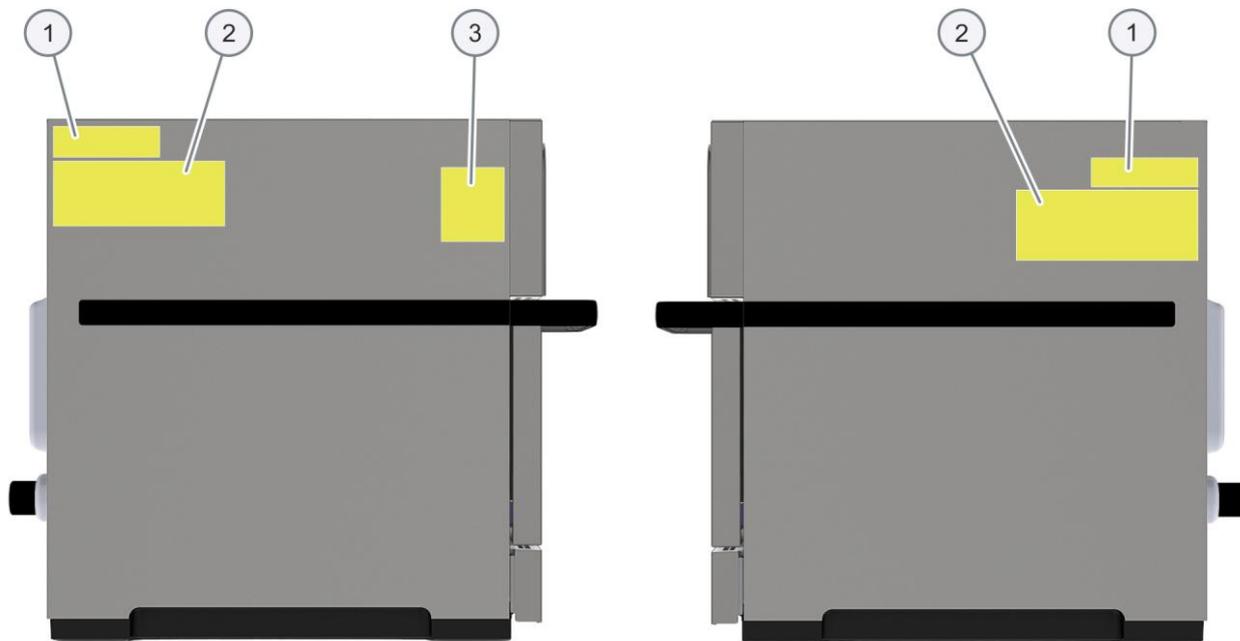
### 清掃に関する要件

---

- 製造業者により認定された洗剤のみを使用してください。
- 高圧の洗剤や噴射水は清掃時に使用しないでください。
- 装置は、アルカリ性または酸性の溶液で清掃したり、酸煙に晒さないでください。

### ⚠ 3.3 オープンレンジの警告表示

#### 警告表示と安全表示



### 必須警告表示

以下の警告表示/通知は、簡単に目視確認できる場所に、必ずオーブンレンジとオプション付属品に貼付してください。

区域	警告表示	内容
1		マイクロ波に関する警告 マイクロ波エネルギーに晒されると、身体の内部および外部に火傷が発生する危険があります。
2		感電に関する警告 装置の電源接続を外すことなく保守作業を行った場合、感電の危険があります。
3		火災/感電に関する警告 装置の最小間隔要件を満たすことなく操作した場合、火災および感電の危険があります。
4		高温表面に関する警告 調理室内と装置のドア内部は、高温による火傷の危険があります。
5		感電に関する警告 適切に接地されたコンセントに電源が接続されていない場合、感電の危険があります。

### 安全シンボル

以下の安全シンボルは、常に簡単に目視確認できるよう、オーブンレンジの指定された箇所に貼付してください。

区域	安全シンボル	内容
6		保護アース (グラウンド)
7		等電位ボンディング

## 3.4 危険の概要

### 危険と安全の注意事項を扱う上での基本原則

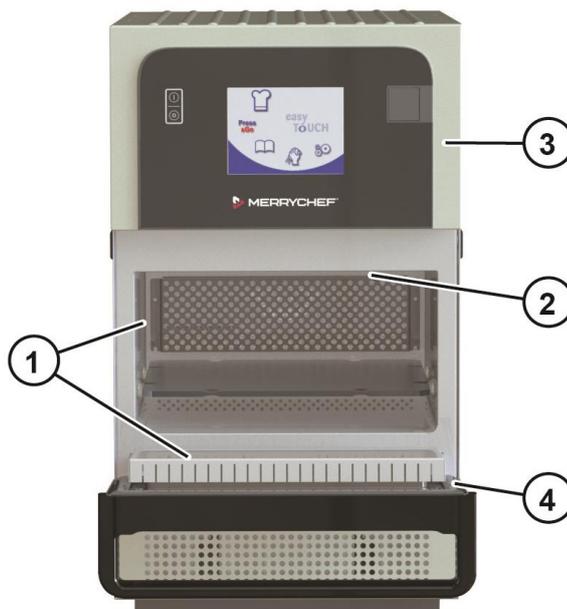
オーブンレンジは、その設計手法を通じて、回避可能なすべての危険から適度な範囲でユーザーを保護するよう設計されています。

ただし、オーブンレンジの実際の使用目的により残存リスクが存在するため、これら为了避免するために注意を払う必要があります。安全装置は、これらの危険の一部に対する一定の保護を提供します。ただし、これらの安全装置は正しい位置に設置され、正常に動作する必要があります。

これらの残存リスクの性質と、これらの影響を以下に記載します。

### 危険個所

以下の図は、Merrychef e2sオーブンレンジを示しています。



### 過度のマイクロ波エネルギー

オーブンレンジはマイクロ波エネルギーを生成します。ドアや調理室が開いていたり、破損している場合、マイクロ波エネルギーに晒されて身体の内部および外部に火傷が生じる可能性があります。

### 熱源 (1)

オーブンレンジの調理室内と装置のドア内部は、高温に達します。これにより、オーブンレンジ内部の高温表面、装置の高温部品、食品の容器、その他調理に使用される付属品で火傷のリスクが発生します。

### 高温蒸気/湯気 (2)

調理中、オーブンレンジは、装置のドアが開いている際の隙間や、ドアが閉じている時にオーブンレンジの背面にある排気口から高温の蒸気および湯気が発生する場合があります。装置のドアが開いている場合、高温の蒸気により炎症を起こすリスクがあります。ドアの上端が目線より下にある場合は、装置のドアを開く際に特に注意してください。

### 高温の液体

---

オーブンレンジ内では食品類が調理されます。これらの食品は液体であったり、調理中に液化する場合があります。適切に対処しない場合、こぼれた高温の液体により炎症を起こす危険があります。

### 通電部品 (3)

---

オーブンレンジは通電部品を含みます。このため、カバーが閉じていない場合、通電部品による危険が生じます。

### 洗浄剤との接触

---

オーブンレンジは特別な洗浄剤を使用して清掃する必要があります。これは化学洗浄剤によるリスクを呈し、一部の洗浄剤は皮膚の火傷を起こす場合があります。

### 可動部品 (4)

---

装置のドア開閉やドア清掃などの動作には、手を挟んだり切ったりする危険が存在します。

### 十分に調理されていない食品

---

微生物が食品に感染する事態を防ぐため、食事を提供する前に必ず加熱されていることを確認してください。

## 3.5 装置の移動に関する危険と安全上の注意

### 安全上の危険：重量物の運搬

危険	危険が生じる場所とタイミング	予防措置
身体を過度に酷使することにより生じる怪我の危険	移動装置への装置の積載または積み降ろし時	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ フォークリフトトラックまたはパレットトラックを使用してください</li> <li>▪ 持ち上げと運搬の安全制限を超えないでください</li> <li>▪ 個人用保護具を着用してください</li> </ul>

### 安全上の危険：装置の機械部品

危険	危険が生じる場所とタイミング	予防措置
装置が落下した場合に身体の一部が押しつぶされる危険	装置の移動中	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 適切な取り扱い器具を使用してください</li> <li>▪ 装置をゆっくり、注意深く移動し、傾かないように固定してください</li> <li>▪ 重心のバランスがとれていることを確認してください</li> <li>▪ 急激な揺れを避けてください</li> </ul>
装置が傾いたり落下した場合に身体の一部が押しつぶされる危険	装置を支持面に降ろす際	装置のセットアップでは、支持面に対する要件に必ず従ってください。「設置場所に関する要件」(44ページ)を参照してください。

## 3.6 装置のセットアップに関する危険と安全上の注意

### 安全上の危険：重量物の運搬

危険	危険が生じる場所とタイミング	予防措置
身体を過度に酷使することにより生じる怪我の危険	装置の移動中	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 装置を設置場所に配置したり、別の場所に移動する場合は、フォークリフトトラックまたはパレットトラックを使用してください。</li> <li>▪ 常に適切な数の作業者を確保し、装置の位置を調整する際は持ち上げと運搬に関する制限を守ってください</li> <li>▪ 現地の労働安全法を順守してください</li> <li>▪ 個人用保護具を着用してください</li> </ul>

### 安全上の危険：装置の機械部品

危険	危険が生じる場所とタイミング	予防措置
装置が落下した場合に身体の一部が押しつぶされる危険	装置の持ち上げ時	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 重心のバランスがとれていることを確認してください</li> <li>▪ 急激な揺れを避けてください</li> </ul>
鋭い先端による切断の危険	板金部品の取り扱い時	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 以下の作業を行う際は注意が必要です</li> <li>▪ 個人用保護具を着用してください</li> </ul>

## 3.7 設置時の危険と安全上の注意

### 安全上の危険：電力

危険	危険が生じる場所とタイミング	予防措置
通電部品による感電の危険	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ カバー下</li> <li>▪ 操作パネル下</li> <li>▪ 主電源線沿い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 電気システムに対する作業は、認定サービス業者の有資格の電気技術者のみが行えます。</li> <li>▪ 専門家による作業</li> </ul>
	装置上と付属金属部品上	すべての電気接続が確実に行われ、装置を使用する前にしっかりと固定されていることを確認してください。 装置の使用準備を開始する前に、装置が等電位ボンディングシステム (EU) に接続されていることを確認してください。

### 安全上の危険：装置の機械部品

危険	危険が生じる場所とタイミング	予防措置
指や身体の一部の挟み込み	ドアの開閉時	ハンドルを使用し、ドアヒンジを避けてください

## 3.8 装置の使用準備時の危険と安全上の注意

### 安全上の危険：電源

危険	危険が生じる場所とタイミング	予防措置
通電部品による感電の危険	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ カバー下</li> <li>▪ 操作パネル下</li> <li>▪ 主電源線沿い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 電気システムに対する作業は、認定サービス業者の有資格の電気技術者のみが行えます</li> <li>▪ 専門家による作業</li> </ul>
	装置上と付属金属部品上	すべての電気接続が確実に行われ、装置を使用する前にしっかりと固定されていることを確認してください。  装置の使用準備を開始する前に、装置が等電位ボンディングシステム（EU）に接続されていることを確認してください。

### 装置の使用準備時のその他の安全上の危険

装置の使用準備を行う際には、本章の安全情報を読み、それに従ってください。また、本設置・操作マニュアルの「安全にお使いいただくために」（14ページ）の以下のセクションもお読みください。

- 「装置の操作時の危険と安全上の注意」
- 「装置の清掃時の危険と安全上の注意」

## 3.9 装置の操作時の危険と安全上の注意

### 安全上の危険：マイクロ波エネルギー

危険	危険が生じる場所とタイミング	予防措置
過度のマイクロ波エネルギーで生じる火傷の危険	装置のドア、ドアのシーล、または調理室が破損した場合、装置の前方に立つ人物はマイクロ波エネルギーの漏れにより怪我をする可能性があります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ ドアを開いて操作すると危険なマイクロ波エネルギーに晒されるため、オープンなドアを開いて操作することは避けてください。安全インターロックを解除したり、改ざんしないことが重要です。</li> <li>▪ オープンの正面と装置のドア間に物を置いたり、シーリングの表面に汚れや洗剤の残留物が堆積しないようにしてください。</li> <li>▪ オープンが破損している場合は操作しないでください。オープンのドアが適切に閉まり、(1) ドア (ベント)、(2) ヒンジ、(3) ドアシールとシーリングの表面が破損していないことが特に重要です。</li> <li>▪ オープンは、適切な資格を有するサービス担当者以外は調整や修理を試みないでください。</li> </ul>

### 安全上の危険：熱 - 高温面

危険	危険が生じる場所とタイミング	予防措置
高温面で生じる火傷の危険	調理室内全体で、以下を含む、調理前後に配置されるすべての部品： <ul style="list-style-type: none"> <li>▪ ラック</li> <li>▪ 容器、ベーキングシート、シェルフグリルなど</li> </ul> 装置のドアの内部	指定された保護具、特に保護手袋を着用してください

### 安全上の危険：熱 - 高温液体

危険	危険が生じる場所とタイミング	予防措置
高温液体で生じる炎症の危険	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 調理室内</li> <li>▪ 装置外</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 液体や液化の食材は内部が良く見える容器のみを使用して調理室に入れ、取り出す際は必ず水平にしてください</li> <li>▪ 指定された保護具、特に保護手袋を着用してください</li> </ul>

### 安全上の危険：食材の汚染

危険	危険が生じる場所とタイミング	予防措置
食材の微生物汚染による危険	調理が手動で中断された場合	<ul style="list-style-type: none"> <li>調理は絶対に意図的に中断しないでください</li> <li>装置内に食材を一時的に保管しないでください</li> </ul>
	停電により調理が中断された場合	装置が動作を再開すると、再開までにかかった時間が食材の状態に影響します。

### 安全上の危険：車輪付きベースに乗せた装置の運搬

危険	危険が生じる場所とタイミング	予防措置
身体への衝撃の危険 手と脚が挟まれる危険 高温の液状食品で生じる炎症の危険 通電部品による感電の危険	装置が車輪付きのプラットフォームで移動される場合	<ul style="list-style-type: none"> <li>オープンレンジのケースまたは装置下の床の清掃以外の目的以外で、装置を前方に動かさないでください。</li> <li>移動前に装置と電源の接続を外してください</li> <li>装置を操作する際、車輪の駐車ブレーキを常にロックしてください</li> <li>毎日、操作前に車輪のブレーキがかかっていることを確認してください</li> </ul>

### 安全上の危険：電力

危険	危険が生じる場所とタイミング	予防措置
通電部品による感電の危険	車輪付きスタンド上の装置が意図せずに動き出し、電源接続が外れた場合	<ul style="list-style-type: none"> <li>装置を操作する際、車輪の駐車ブレーキを常にロックしてください</li> <li>毎日、操作前に車輪のブレーキがかかっていることを確認してください</li> </ul>

### 安全上の危険：装置の機械部品

危険	危険が生じる場所とタイミング	予防措置
漏れた濃縮液による滑りの危険	装置の前方	装置周辺の床は常に乾いていることを確認してください

## 3.10 装置の清掃時の危険と安全上の注意

### 安全上の危険：洗浄剤

危険	危険が生じる場所とタイミング	予防措置
化学薬品とその煙との接触による、皮膚、眼、呼吸器系の化学火傷やかゆみの危険	すべての清掃作業において	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 洗浄剤が皮膚や眼に接触しないようにしてください</li> <li>■ 洗浄剤が装置内にある場合は加熱しないでください</li> <li>■ 調理室内には絶対に洗浄剤を噴射しないでください</li> <li>■ 噴霧を吸い込まないでください</li> <li>■ 個人用保護具を着用してください</li> </ul>
	腐食性の洗浄剤が使用される場合	「洗浄剤」(92ページ)に記載された洗浄剤のみを使用してください。

### 安全上の危険：食材の汚染

危険	危険が生じる場所とタイミング	予防措置
洗浄剤による食材汚染の危険	清掃後に調理室が適切に洗浄されなかった場合。	大量の清潔な温水と清潔な布で調理室を洗浄し、続いて柔らかい布やペーパータオルで拭き取ってください。

### 安全上の危険：熱

危険	危険が生じる場所とタイミング	予防措置
高温面で生じる火傷の危険	調理室内全体で、以下を含む、調理前後に配置されるすべての部品： <ul style="list-style-type: none"> <li>■ ラック</li> <li>■ 容器、ベーキングシート、シェルフグリルなど</li> </ul> 装置のドアの内部	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 清掃作業を行う前に、調理室内が50° C / 122° F以下に冷却されるまで待つか、「冷却」機能を使用して調理室を冷却してください</li> <li>■ 指定された保護具、特に保護手袋を着用してください</li> </ul>
水が高温の調理室内に吹き付けられた場合の炎症の危険	調理室内全体	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 清掃作業を行う前に、調理室内が50° C / 122° F以下に冷却されるまで待つか、「冷却」機能を使用して調理室を冷却してください</li> <li>■ 指定された保護具、特に保護手袋を着用してください</li> </ul>
高温蒸気による炎症の危険	装置の前方、調理室が「冷却」機能により冷却された場合	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 装置から離れ、装置の開いたドアから漏れ出る高温の蒸気と湯気を避けてください</li> <li>■ 頭を調理室内に入れないでください</li> </ul>

### 安全上の危険：車輪付きベースに乗せた装置の運搬

危険	危険が生じる場所とタイミング	予防措置
すべての特定された危険	装置が車輪付きのプラットフォームで移動される場合	オープンレンジの移動中、車輪が電源ケーブルの上に乗らないように注意してください
身体への衝撃の危険	装置が車輪付きのプラットフォームで移動される場合	接続ケーブルに注意してください
高温の液状食材による炎症の危険	装置が車輪付きのプラットフォームで移動される場合	移動前に装置から必ずすべての食材を取り出してください
通電部品による感電の危険	装置が車輪付きのプラットフォームで移動される場合	接続された電源ケーブルに注意してください
露出したケーブルに躓く危険	装置を前に引き出し、背面を清掃する場合	この作業を行う際には注意が必要です

### 安全上の危険：電源

危険	危険が生じる場所とタイミング	予防措置
短絡による感電の危険	装置が水に触れた場合	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 外装は水で洗い流さないでください</li> <li>▪ 清掃中は必ずUSBカバーを閉じてください</li> </ul>
通電部品による感電の危険	車輪付きスタンド上の装置が意図せず動き出し、電源接続が外れた場合	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 装置を操作する際には車輪の駐車ブレーキを常にロックしてください</li> <li>▪ 毎日、操作前に車輪のブレーキがかかっていることを確認してください</li> </ul>

### 安全上の危険：装置の機械部品

危険	危険が生じる場所とタイミング	予防措置
手に衝撃が加わり指が挟まれる危険	装置のドアの開閉時	この作業を行う際には注意が必要です

## 3.11 装置の使用停止時の危険と安全上の注意

### 安全上の危険：電力

危険	危険が生じる場所とタイミング	予防措置
通電部品による感電の危険	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ カバー下</li> <li>▪ 操作パネル下</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 電気系統に関する作業は、認定された顧客サービス業者の有資格の電気技術者のみが行えます</li> <li>▪ 専門家による作業</li> </ul>

### 安全上の危険：重量物の運搬

危険	危険が生じる場所とタイミング	予防措置
身体を過度に酷使することで生じる怪我の危険	移動装置への装置の積載または積み降ろし時	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ フォークリフトトラックまたはパレットトラックを使用してください</li> <li>▪ 持ち上げと運搬の安全制限を超えないでください</li> <li>▪ 個人用保護具を着用してください</li> </ul>

### 安全上の危険：装置の機械部品

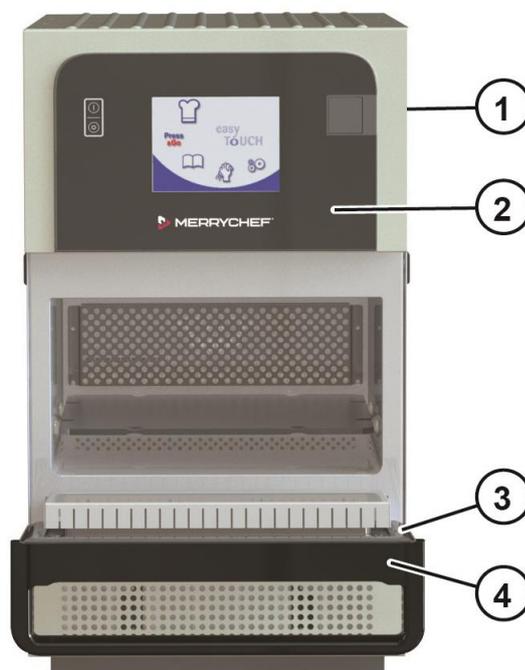
危険	危険が生じる場所とタイミング	予防措置
装置が傾いたり落下した場合に身体の一部が押しつぶされる危険	例えば、接続部にアクセスしやすくなるように装置を移動する場合	装置を使用停止にする場合は、要件に必ず従ってください。「設置場所に対する要件」(44ページ)を参照してください。
漏れたキッチンの床による滑りの危険	装置の前方	装置周辺の床は常に乾いていることを確認してください

## 3.12 安全装置

### 意味

オーブンレンジには、危険からユーザーを守るための安全装置が多数搭載されています。装置を使用する際は、すべての安全装置が組み込まれ、正確に動作していることが絶対に必要となります。

### 場所と機能



項目	安全装置	機能	確認
1	カバーは工具を使用しなければ取り外し不可能である	<ul style="list-style-type: none"> <li>通電部品に誤って触れないよう保護する</li> <li>配線部から稼働中の冷却ファンへのアクセスを防止する</li> </ul>	カバーが取り付けられていることを確認します
2	操作パネルは工具を使用しなければ取り外し不可能である	通電部品に誤って触れないよう保護する	操作パネルが取り付けられていることを確認します
3	ドアシール	ユーザーと周辺環境を調理室から漏れるマイクロ波エネルギーから保護する	ドアシールを定期的に点検し、破損がないことを確認し、破損があれば交換します。
4	装置のドア	ユーザーと周辺環境を高温の蒸気とマイクロ波エネルギーから保護する	ドアを定期的に点検し、破損がないことを確認し、破損があれば交換します

### 3 安全にお使いいただくために

項目	安全装置	機能	確認
5 (図示されて いません)	ドアのインターロック： 装置のドア用の電子ド アセンサー	ドアの開放時に、電子レンジのマ イクロ波生成システムが機能しな いようにする	ドアスイッチを確認します： <b>アクション：</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 装置のドアを完全に開けます</li> <li>▪ 「スタート」を押します</li> </ul> <b>結果：</b> ドア開放警告メッセージ
6 (図示されて おらず、ユーザ ーが設置しま す)	遮断器	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 装置に近いユーザーが設置。目視 とアクセスが簡単に行え、1-また は3-極動作、最小接点分離は3mm。</li> <li>▪ 清掃、修理、サービス作業、およ び危険の際に装置と電源の分離 に使用</li> </ul>	<b>アクション：</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 遮断器をトリップさせます</li> </ul>
7 (図示されて いません)	内蔵ヒューズ	故障部品が過度の電流を消費して 火災を起こさないように保護す る。	内蔵ヒューズは正しい定格のもの が選定されていることを確認しま す

## 3.13 作業者と作業位置に関する要件

### 操作者が従うべき要件

作業者	資格	作業内容
調理師	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 関連の専門トレーニングを受けている</li> <li>▪ 該当の国家食品法と規制に加え、衛生関連の法律と規制を理解している</li> <li>▪ HACCPに従って記録する必要がある</li> <li>▪ オープンレンジの操作方法のトレーニングを受けている</li> </ul>	<p>以下を含む管理作業を実質的に行っている</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 調理プロファイルの入力</li> <li>▪ クックブック内の既存調理プロファイルの編集</li> <li>▪ 新規調理プロファイルの作成</li> <li>▪ 装置の設定の調整</li> </ul> <p>必要であればすべてのユーザー作業を行う。</p>
ユーザー	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 半熟練</li> <li>▪ オープンレンジの操作方法のトレーニングを受けている</li> <li>▪ 監督の下で作業する</li> <li>▪ 重量物の取り扱いに関する規制を理解している</li> </ul>	<p>以下を含む特定の操作を実質的に行っている</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▪ オープンレンジに食材を入れる</li> <li>▪ 調理プロファイルの開始</li> <li>▪ 食材を取り出す</li> <li>▪ オープンレンジの清掃</li> <li>▪ オープンレンジへの付属品の取り付け</li> <li>▪ 簡単な修理作業を行う</li> </ul>
装置の配送業者	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ フォークリフトトラックまたはパレットトラックの使用トレーニングを受けている</li> <li>▪ 重量物の取り扱いに関する規制を理解している</li> </ul>	設置施設内での運搬
サービス技術者	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 認定されたサービス担当者である</li> <li>▪ 関連する技術トレーニングを受けている</li> <li>▪ 特定の装置に関するトレーニングを受けている</li> <li>▪ 重量物の取り扱いに関する規制を理解している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 装置のセットアップ</li> <li>▪ 装置の初回使用のための準備および装置の使用停止</li> <li>▪ ユーザーの指導</li> </ul>

### 作業位置

- 装置を設置し、初回使用前の準備を行う作業者の作業位置は装置周辺の全域です。
- 装置を操作する作業者の作業位置は装置のドアの前方です。
- 装置を清掃と保守を行う人作業者の作業位置は装置周辺の全域です。



### 3.14 個人用保護具

#### 装置の移動とセットアップ

作業	使用器具	個人用保護具
<ul style="list-style-type: none"> <li>設置施設内での運搬</li> <li>装置の支持面、スタンド、またはスタックキットへのセットアップ</li> <li>装置の設置場所へのセットアップ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>適切な昇降装置</li> <li>フォークリフトトラックまたはパレットトラック</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護手袋</li> <li>安全靴</li> <li>安全帽（重量物の昇降時、頭上で作業が行われる場合など）</li> </ul>

#### 設置、初回使用のための準備、装置の使用停止

作業	使用器具	個人用保護具
電源接続と除去（使用停止時）	作業に応じた器具と設備	国の規制により指定された、作業に応じて必要となる作業衣と個人用保護具
<ul style="list-style-type: none"> <li>装置の初回使用のための準備</li> <li>ユーザーの指導</li> </ul>	作業に応じた器具と設備	各国の規格および指令によりキッチン内作業用に指定された作業衣、特に以下のもの： <ul style="list-style-type: none"> <li>保護衣</li> <li>耐熱手袋（欧州連合のEN 407規格に準拠）</li> <li>安全靴</li> </ul>
装置の分解（使用停止時）	<ul style="list-style-type: none"> <li>適切な昇降装置</li> <li>フォークリフトトラックまたはパレットトラック</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護手袋</li> <li>安全靴</li> <li>安全帽（重量物の昇降時、頭上で作業が行われる場合など）</li> </ul>

#### 操作

作業	使用器具	個人用保護具
食材の出し入れ	なし	各国の規格および指令によりキッチン内作業用に指定された作業衣、特に以下のもの： <ul style="list-style-type: none"> <li>保護衣</li> <li>耐熱手袋（欧州連合のEN 407規格に準拠）</li> <li>安全靴</li> </ul>
部品の除去と取り付け	作業に応じた器具と設備	各国の規格および指令によりキッチン内作業用に指定された作業衣、特に以下のもの： <ul style="list-style-type: none"> <li>保護衣</li> <li>耐熱手袋（欧州連合のEN 407規格に準拠）</li> <li>安全靴</li> </ul>

## 清掃

作業	使用器具	個人用保護具
<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 調理室を手作業で清掃</li> <li>▪ スプレー瓶の扱い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ メーカーにより認定された洗剤</li> <li>▪ メーカーにより認定された保護剤</li> </ul>	<p>使用する洗剤に応じた保護具：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 呼吸マスク</li> <li>▪ 安全ゴーグル</li> <li>▪ 保護手袋</li> <li>▪ 保護衣/エプロン</li> </ul> <p>該当する洗剤のEC安全データシートには、これらの項目についてより詳細な仕様が記載されています。最新のコピーは製造業者より入手可能です。関連する洗剤のラベルを参照してください。</p>
<p>関連する指示に基づく部品と付属品の清掃</p>	<p>一般家庭洗剤：皮膚刺激の少ない、非アルカリ性、中性PH、無臭の洗剤</p>	<p>使用する洗剤の製造業者が提供する指示に従ってください</p>
<p>装置のケース外装の清掃</p>	<p>一般家庭用のステンレスクリーナーまたは硬質表面洗剤</p>	<p>使用する洗剤の製造業者が提供する指示に従ってください</p>

## 4 装置の移動

### 本章の目的

---

本章は装置の移動方法について説明します。

本章は、装置に責任を持つ所有者の従業員と、認定されたサービス業者の有資格の従業員を対象としています。

### 目次

---

本章には以下のトピックが含まれます：

	ページ
装置の取り扱いにおける安全	40
装置の設置場所への移動	41

## 4.1 装置の取り扱いにおける安全

### 安全にお使いいただくために

---

作業を開始する前に、「装置の移動時の危険と安全上の注意」（25ページ）に記載された危険をよくお読みください。

### 装置を移動する作業者の条件

---

装置を移動する作業者の条件は次の通りです：

- 取扱い用のパレットトラックやフォークリフトトラックの使用訓練を受けた作業者のみが装置を移動できます。
- 作業者は、重い物体の取り扱いに関する規制を理解する必要があります。

### 個人用保護具

---

関連する作業について、「安全にお使いいただくために」の「個人用保護具」（37ページ）で指定された以下の個人用保護具を着用してください。

### 重量物の移動

---

#### WARNING

##### 不適切な昇降による怪我の危険

装置の昇降では、装置の重量は、特に上半身の傷害の原因となります。

- ▷ 装置はフォークリフト/パレットトラックを使用して移動してください。
- ▷ 装置の昇降時には、装置の重量を考慮し（年齢と性別によって異なります）、十分な人数の作業者を確保してください。現地の労働安全法を順守してください。
- ▷ 個人用保護具を着用してください。

### 不適切な支持面

---

#### WARNING

##### 装置が傾いたり落下した場合に身体の一部が押しつぶされる危険

装置が傾いたり落下した場合、身体の一部が押しつぶされる可能性があります。

- ▷ 装置は不安定な支持面の上には絶対に置かないでください。

## 4.2 装置の設置場所への移動

### 装置を移動する際に必要となる空間

---

装置が設置場所まで問題なく移動できるよう、装置の運搬ルートの手元にて、十分な幅と高さが確保されていることを確認してください。

以下の表には**包装材を含む装置**の寸法が記載されています。これは、装置を設置場所に運搬するために必要な最小の通路寸法を決定するために必要となります。

#### 最小通路寸法

幅	[in]	21.1	[mm]	535
高さ	[in]	33.5	[mm]	850
奥行	[in]	35.3	[mm]	895

### 装置を移動する際の重量負荷

---

重量を支えられる定格を持つ運搬装置を使用してください。

「寸法と重量」(108ページ)を参照し、梱包材を含む装置の重量を確認し、運搬装置の最低可搬重量を決定してください。

### 装置の設置場所への移動

---

装置の運搬時には以下の指示に従ってください：

- 装置は必ずパレットに載せて移動してください。
- 装置は必ず立てた状態で移動してください。
- 装置はゆっくり、注意深く移動し、傾かないよう固定してください。
- 装置が他の物体に当たらないようにしてください。
- 装置の運搬時は不均衡な通路や上り坂/下り坂を避けてください。
- オープンのハンドルを用いて持ち上げることはせず、常に引上げ用のポイントを使用して持ち上げてください。

## 5 装置のセットアップ

### 本章の目的

---

本章は、装置のセットアップ方法について説明します。

本章はユーザーおよび認定されたサービス業者の有資格の従業員を対象としています。

### 目次

---

本章には以下のトピックが含まれます：

	ページ
装置のセットアップにおける安全	43
設置場所の要件	44
装置の開梱	46
装置のパレットからの積み降ろし	48
装置の作業面への設置	48

## 5.1 装置のセットアップにおける安全

### 安全にお使いいただくために

---

作業を開始する前に、「装置のセットアップ時の危険と安全上の注意」(26ページ)に記載された危険をよくお読みください。

### 装置をセットアップする作業者の条件

---

装置をセットアップする作業者の条件は次の通りです：

- 認定されたサービス業者の有資格の作業者のみが装置をセットアップできます。

### 装置のセットアップに関する規制

---

ケータリングキッチン<sup>®</sup>の作業場に関する地方および国の規格と規制に従ってください。

該当する設置場所に対して地方自治体と供給業者の規則と規制が適用される場合にはこれらに従ってください。

### 個人用保護具

---

関連する作業について、「安全にお使いいただくために」の「個人用保護具」(37ページ)で指定された以下の個人用保護具を着用してください。

### 重量物の移動

---

#### WARNING

##### 不適切な昇降による怪我の危険

装置の昇降では、装置の重量は、特に上半身の傷害の原因となります。

- ▷ 装置を設置場所に配置したり、別の場所に移動する場合は、フォークリフトトラックまたはパレットトラックを使用してください。
- ▷ 装置を適切な位置に移動する際には、装置の重量を考慮し(年齢と性別によって異なります)、十分な人数の作業者を確保してください。現地の労働安全法を順守してください。
- ▷ 個人用保護具を着用してください。

### 不適切な支持面

---

#### WARNING

##### 装置が傾いたり落下した場合に身体の一部が押しつぶされる危険

装置が傾いたり落下した場合、身体の一部が押しつぶされる可能性があります。

- ▷ 装置は不安定な支持面の上には絶対に置かないでください。

## 5.2 設置場所の要件

### 意味

本セクションには、オープンレンジの適切な設置場所を選ぶ際に役立つ情報が含まれます。対象の設置場所を慎重に調査し、装置を移動して設置を開始する前に適切であることを確認してください。

### ▲ 装置の安全なセットアップに関する規制

設置場所と装置の環境に起因する危険を回避するため、以下の規則に従ってください：

- 操作条件に適合する必要があります。操作条件については、「オープンレンジの操作環境に関する要件」(20ページ)を参照してください。
- 高温面で生じた熱による火傷の危険があります。このため、装置の近辺や下には可燃性の物質、気体、または液体を置かないでください。装置を設置する場所を選ぶ際、装置の最小間隙要件および本要件に従うことが必須となります。
- 付近の熱源は、最低500mm / 20inの距離を置いてください。
- 装置は、装置から漏れたり調理プロセス中に漏れる液体が、深型フライヤーや高温の脂肪分を蓋のない状態で使用する装置に到達する可能性がまったくない場所に設置する必要があります。高温の脂肪分を蓋のない状態で使用する深型フライヤーまたは器具は、最低500mm / 20inの距離を置いてください。
- 装置は、火災報知器やスプリンクラーの直下に設置してはなりません。火災報知器とスプリンクラーシステムは、ドアが開いた時に装置から放出される蒸気と湯気に触れても作動しないように設置してください。
- オープンレンジが傾いたり滑らないように、オープンレンジの設置位置に支持構造物台（作業面、スタンド、スタックキット）を設置する必要があります。支持面は以下の要件を満たす必要があります。
- 車輪付きのオープンスタンドや車輪付きのスタックキットを使用する場合、全般的に振動を避けてください。

### 支持面の要件

支持面は以下の要件を満たす必要があります：

- 支持面は水平で平坦であること。
- 支持面は、使用中の装置重量に加え、装置を支持する構造物の重量を支えることができること。
- 装置の支持構造物（作業面やスタンド）は、使用中の装置重量を支えることができること。

#### 装置の空重量

e2s 高出力バージョン	[lbs]	134	[kg]	61.0
e2s 標準出力バージョン	[lbs]	114	[kg]	51.7

### 実際の空間要件

オープンレンジを安全に操作し、特に高温の食品を安全に扱うには、規定された最小空間要件よりも大幅な空間が装置の前方に必要となります。

食材の出し入れには、より大きな間隙を設けることが推奨されます。

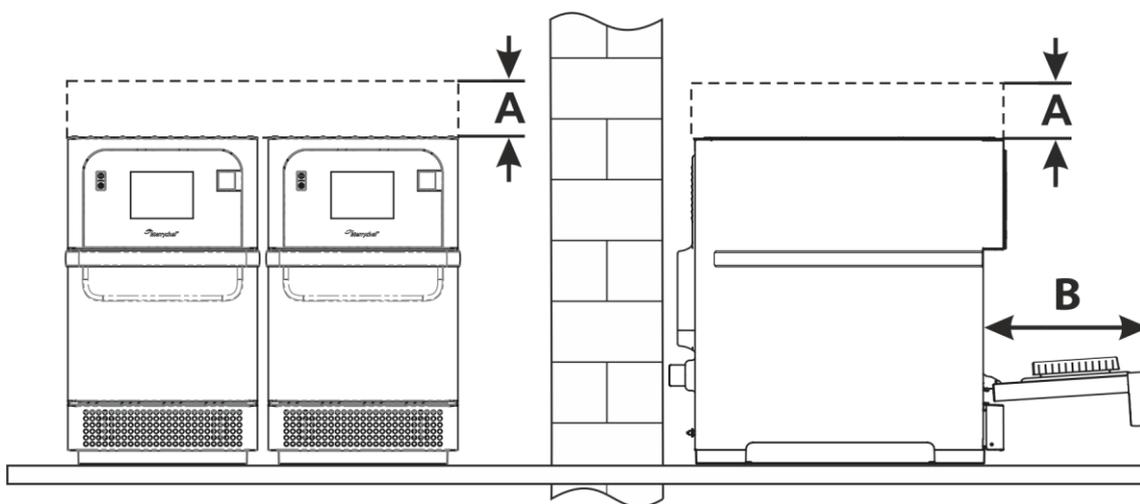
設置場所では、以下の部品が覆われたり、調節されたり、塞がれることのないようにしてください（「オープンレンジのデザインと機能」(12ページ)も参照してください。）：

- 装置背面の排気口
- 装置前面のエアフィルター

### 最小空間要件

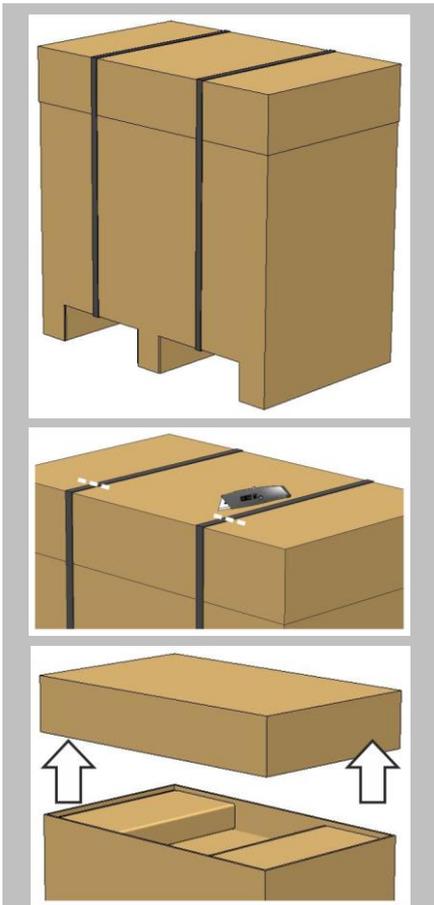
以下の図と表は、様々な設置・操作環境に応じた装置の空間要件を示しています。隣接する壁や表面からの最小水平距離も示しています。上部の安全な距離は必ず遵守してください。

意味	必要空間
A 上部からの安全な距離	[in] 2 [mm] 50
B 奥行要件、装置のドアは90°で開放 左右および背面の安全な距離	[in] 12.2 [mm] 310



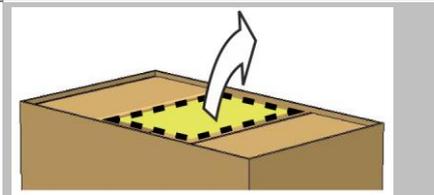
### 5.3 装置の開梱

1.

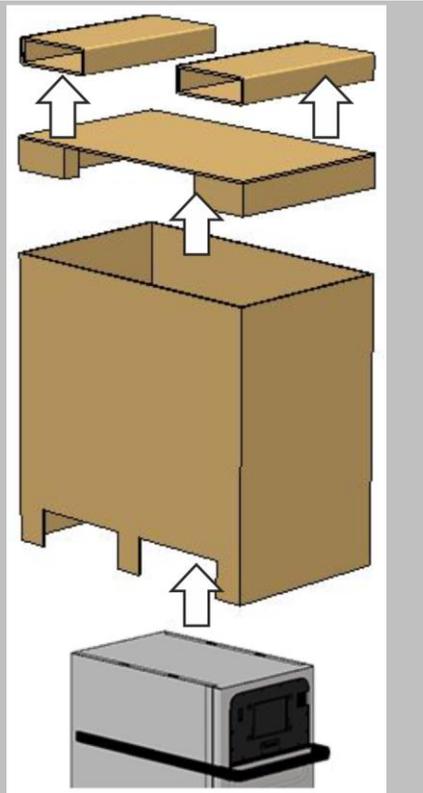


箱を覆うひもを切ります。上蓋を取ります。

2.



お客様向け文書とすべての付属品を取り出します。

3.		梱包材を取り外します。
4.		受領証に署名する前に、装置が破損していないか検査します。破損があった場合には、受領証に記録し、運送業者と製造業者に通知します。
5.		<b>警告</b> いかなる状況においても、破損した装置は設置または稼働しないでください。

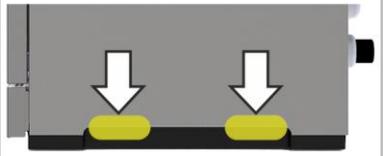
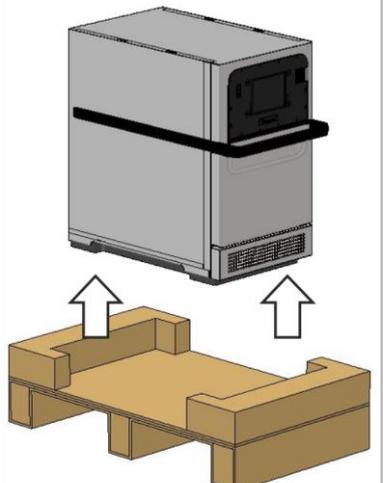
## 目次

以下の部品が同梱されています。

- 1x オープンレンジ
- 1x エアフィルター
- 1x 高剛性調理プレート/ワイヤーラック
- 1x へら
- 1x 冷却皿
- 1x 設置・操作マニュアル

## 5.4 装置のパレットからの積み降ろし

装置の重量は「技術データ」(107ページ)に記載されています。

1.		適切な持ち上げ場所を見つけます。
2.		装置を梱包材から持ち上げます。 適切な個人用保護具を着用します。
3.		<b>警告</b> <ul style="list-style-type: none"><li>▪ ハンドルを持ってオープンを持ち上げることは避けてください。</li><li>▪ 装置が傾いて身体の一部が押しつぶされる危険があります。</li></ul>

## 5.5 装置の作業面への設置

### ▲ 装置の安全なセットアップに関する規制

装置が安定して設置されるよう、以下の規則に従ってください：

- オープンレンジが傾いたり滑らないよう、設置場所に作業面を準備してください。支持面はこの要件を満たす場所を選んでください。
- 作業面は滑りにくい面である必要があります。

## 6 設置

### 本章の目的

---

本章はオープンレンジを電源に接続する方法を記載します。

### 目次

---

本章には以下のトピックが含まれます：

	ページ
電気配線における安全	50
電気配線の計画	50
電気配線の要件	52

## 6.1 電気配線における安全

### 安全にお使いいただくために

---

作業を開始する前に、「装置の設置時の危険と安全上の注意」(27ページ)の危険をよくお読みください。

### 電気配線を行う作業者の条件

---

認定されたサービス業者に所属し、EN 50110-1の条項規定を満たす電気技術者のみが電気配線の作業を行えます。

### 電気配線に関する規制

---

不適切な電気配線による危険を防止するため、以下の要件に従ってください：

- 電源は、適用される地域および国の規制、専門団体の規制、関連する電力会社の規制に従って接続する必要があります。

### 個人用保護具

---

関連する作業について、「安全にお使いいただくために」の「個人用保護具」(37ページ)で指定された個人用保護具を着用してください。

### 通電部品

---

#### **▲DANGER**

#### 通電部品による感電の危険

装置が等電位ボンディングシステムに接続されていない場合、通電部品に触れることにより感電の危険があります。

- ▶ 電気システムに対するすべての作業は、認定されたサービス業者の資格を有する電気技術者のみが行えます。
- ▶ すべての電気接続が不備なく行われ、装置を使用する前に確実に接続されていることを確認してください。
- ▶ 装置の使用準備を開始する前に、すべての金属付属品を含め、装置が等電位ボンディングシステムに接続されていることを確認してください。

## 6.2 電気配線の計画

### 意味

---

電気システムを慎重かつ正確に設置することは、装置の安全で信頼できる操作を確保する上で不可欠です。以下に記載するすべての規則と規制、および記載された手順に厳密に従ってください。

### ▲ 装置の安全な電気配線に関する規則

---

不適切な電気接続による危険を防止するため、以下の規則に従ってください：

- 電源は、適用される専門団体の規制、関連する電力会社の規制に従って接続する必要があります。
- 装置のケースは、等電位ボンディングシステムに適切な方法で接続する必要があります。
- スタックユニットに2台のオープンレンジが設置される場合、装置ケースおよびスタックキットは適切な方法で接地され、等電位ボンディングシステムに接続する必要があります。

- オープンレンジが車輪付きプラットフォーム上にある場合、電源のリード線長は車輪付きプラットフォーム上の保持装置により装置の移動が可能である長さを確保する必要があります。アセンブリ（プラットフォームと装置）を移動する際には、電源のリード線に対して絶対に張力を加えないでください。
- 装置の初回使用のための準備では、すべての電気接続を確認し、ケーブルが適切に配線され、接続が正しく行われていることを確認する必要があります。

### 顧客が提供する装置と電気配線規制

以下の表には、顧客が準備する必要のある設備と、装置の接続時に遵守する必要のある規制が示されています。

設備	規制
ヒューズ	装置のヒューズ保護と接続は、地域の規制および国の設置要件に従う必要があります。
等電位ボンディング	装置は等電位ボンディングシステム内に設置する必要があります。 等電位ボンディング: 電気機器およびすべての外部導電部品のフレームが、同じ（または実質的に同じ）電位にあることを保証できる電気接続を指します。
漏電遮断器 (RCD)	配線規制により、漏電遮断器 (RCD) による残留電流からの保護が義務付けられています。該当する国の規制に適合する適切な漏電遮断器を使用してください。 複数の装置を設置する場合、各装置につきそれぞれ漏電遮断器が必要となります。
遮断器	装置の近辺に、各接点間の距離が最低3mm確保されている全極対応の遮断器を、手の届きやすい場所に設置する必要があります。装置はこの遮断器を通じて接続する必要があります。 遮断器は、清掃、修理、設置作業の際に装置と電源を分離するために使用されます。

### 内蔵の周波数変換器

装置には周波数変換器 (FC) とEMC電源入力フィルターが取り付けられています。  
これらの機器により、FC駆動毎に3.5mA以上の漏れ電流が発生する場合があります。  
定格電圧に合わせて適切なRCDを使用してください。

### 漏電遮断器の特性

漏電遮断器 (RCD) は以下の特性を備えている必要があります：

- RF電流を除去するフィルター
- トリップ閾値が >30mAの「時間遅延」トリップ特性を持つRCD機器：機器の電源を入れる際、コンデンサの帯電電流と寄生容量によるRCDのトリップを防ぎます。
- トリップ閾値が  $\geq 30$ mAのRCD機器のための「SIタイプ漏電保護」：妨害トリップには反応しにくい。

## 6.3 電気配線の要件

### 回路遮断器

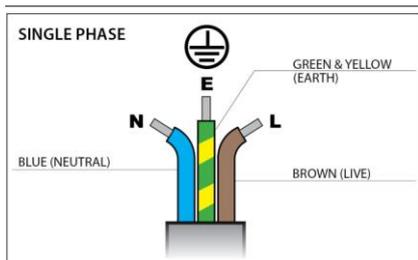
標準（タイプ「B」）の回路遮断器を備える施設は冷凍庫、冷蔵庫、およびオーブンレンジを含むその他の調理設備の電源を入れる際に発生する「サージ」の影響を受けやすくなります。このため、タイプ「D」の回路遮断器（これらの設備のために特別に設計）を使用する必要があります。設置される各装置に対して、適切な定格を持つ回路遮断器を個別に設置してください。

### 低インピーダンス電源

本民生用オーブンレンジはEN 61000-3-11に準拠します。ただし、高感度の機器を本装置と同じ電源に接続する場合、電源の専門家と相談し、必要であれば低インピーダンス電源を使用してください。

### 電源

図



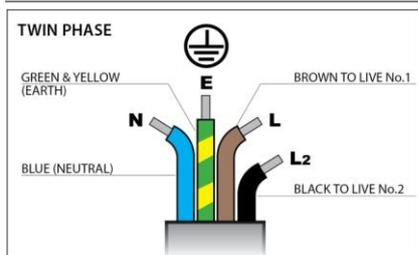
意味

UKモデルには、IEC 60309（EN 60309）規格準拠の青色の32Aプラグが取り付けられています。

回路遮断器は32Aプラグ用には定格32A、16Aプラグ用に定格16Aである必要があります、時間遅延、モーター起動タイプ（欧州タイプD）である必要があります。

UK 13Aモデルには、BS1363規格準拠モールドプラグが取り付けられており、13A定格のヒューズが内蔵されています。

EU 16Aモデルには、CEE 7/7（タイプF Schuko）規格準拠モールドプラグが取り付けられています。



2相モデルは図の通りに接続してください。

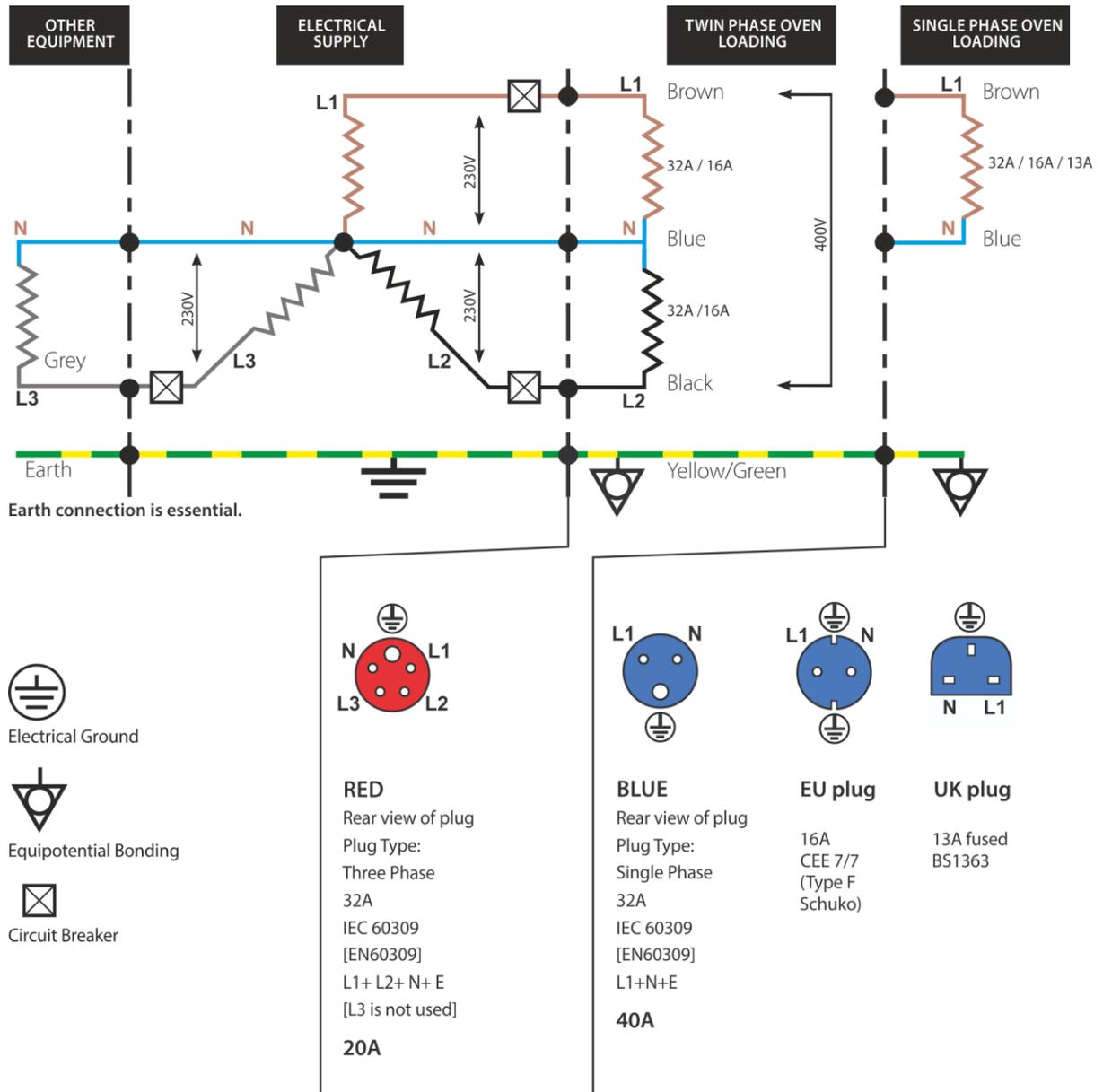
回路遮断器は定格20A以上である必要があります、時間遅延、モーター起動タイプ（欧州タイプD）である必要があります。

### 等電位ボンディング



装置のリアパネルには等電位ボンディング用の接続点があり、独立したアース（GND）接続が可能です。

相負荷図



相負荷図の説明

相負荷

各相の負荷は均等ではありません。したがって、他の電気機器をL3+Nに接続することが推奨されます。

## 7 装置の使用準備

### 本章の目的

---

本章はオープンレンジの使用準備と調理を行う方法を記載します。

### 目次

---

本章には以下のトピックが含まれます：

	ページ
装置の使用準備における安全	55
装置の使用準備手順	57
メインメニュー画面	59
キーボード	60

## 7.1 装置の使用準備における安全

### 装置の使用準備を安全に行うために

---

作業開始前に、本設置・操作マニュアルの「安全にお使いいただくために」の「装置の使用準備時の危険と安全上の注意」(28ページ)に記載された危険をよくお読みください。

### 装置の使用準備のための個人用保護具

---

関連する作業について、「安全にお使いいただくために」の「個人用保護具」(37ページ)で指定された個人用保護具を着用してください。

### 装置の安全な操作に関する規則

---

危険を避けるため、操作時は以下の規則を遵守する必要があります：

- 装置背面の排気口および装置前面の換気口は覆ったり、障害物を設置したり、塞がないでください。
- 適切な付属品がすべて取り付けられていることを確認してください。

危険を避けるため、車輪付きの支持構造物に配置された装置の操作時は以下の規則を遵守する必要があります：

- 前方車輪の駐車ブレーキは、装置の操作時は常にロックしておいてください。
- 毎日、操作前に車輪のブレーキがかかっていることを確認してください。

### 通電部品

---

#### DANGER

##### 通電部品による感電の危険

装置が等電位ボンディングシステムに接続されていない場合、通電部品に触れることにより感電の危険があります。

- ▷ 電気システムに対するすべての作業は、認定されたサービス業者の有資格の電気技術者のみが行えます。
- ▷ 装置の使用準備を開始する前に、すべての金属付属品を含め、装置が等電位ボンディングシステムに接続されていることを確認してください。

### 高温表面

---

#### WARNING

##### 調理室内と装置のドア内部が高温になることによる火傷の危険

- ▷ 調理チャンバーの内部、装置のドア内部、調理時のオープン内部の部品に触れると、火傷が発生する可能性があります。
- ▷ 個人用保護具を着用してください。

## 高温蒸気/湯気

---

### ▲WARNING

#### 高温蒸気と湯気により生じる炎症の危険

- ▶ ドアを開ける際、放出される高温の蒸気と湯気には常に注意してください。顔、手、足先、脚の炎症の原因となります。
- ▶ 「冷却」機能により調理室を冷却する際、装置から離れて、ドアから漏れる高温の蒸気と湯気を避けてください。

## 過度のマイクロ波エネルギー

---

### ▲WARNING

#### 過度のマイクロ波エネルギーで生じる火傷のリスク

#### 過度のマイクロ波エネルギー暴露を避けるための注意事項

- ▶ ドアを開いて操作すると危険なマイクロ波エネルギーに晒されるため、オープンしたドアを開いて操作することは避けてください。安全インターロックを解除したり、改ざんしないことが重要です。
- ▶ オープンの正面と装置のドア間に物を置いたり、シーリングの表面に汚れや洗浄剤の残留物が堆積しないようにしてください。
- ▶ オープンが破損している場合は操作しないでください。オープンしたドアが適切に閉まり、(1) ドア（ベント）、(2) ヒンジ、(3) ドアシールとシーリングの表面が破損していないことが特に重要です。
- ▶ オープンは、適切な資格を有するサービス担当者以外は調整または修理を試みないでください。

## 無線干渉

---

### 注意

本装置はクラスA機器です。屋内環境において本機器は無線干渉を引き起こす可能性があり、ユーザーは必要な対処を行う必要がある場合があります。

以下の対策を通じて、ラジオ、テレビ、その他の電気機器への干渉を減らすか、除去してください：

- 電気機器はオープンレンジから可能な限り遠ざけて設置してください。
- 信号受信強度を高めるため、ラジオおよびテレビなどの機器にはアンテナを適切に取り付けてください。

## 7.2 装置の使用準備手順

### 装置の使用準備前の点検

オープンレンジの使用準備を行う前に、以下のチェックリストを使用して、すべての重要な要件が満たされていることを確認してください。装置は、指定された要件がすべて満たされるまで操作しないでください。

装置の移動、セットアップ、設置に関するチェックリスト：

- 段ボールの梱包材や運搬時の固定器具などが完全に装置から取り外されている。
- 装置には損傷の形跡が見当たらない。
- 装置は傾いたり滑ったりしないように設置されている。設置位置と装置周辺に関する要件に適合している。
- 装置は設置規制に従って設置されている。

安全装置と警告に関するチェックリスト：

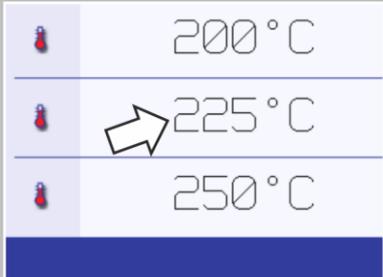
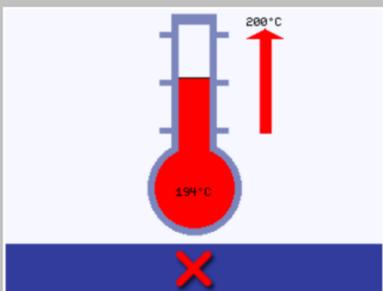
- すべての安全装置が指定された位置に設置されており、適切に動作しており、確実に固定されている。
- すべての安全表示が指定された場所に表示されている。

### 適切な調理器具

各調理機能について、製造業者の指示と温度定格を参照し、個別の容器や器具が適切であるかどうかを判断してください。下の図に一般ガイドラインを示します：

調理器具	使用の可否	注意
<b>耐熱容器</b>		
強化ガラス	可	
適合するガラス状セラミック	可	金属製の装飾が施された器具は使用できません。
陶器（磁器、陶磁器、瀬戸物など）	可	
<b>金属またはホイルトレイ</b>		
すべての金属容器またはホイル容器	不可	
<b>プラスチック容器</b>		
デュアルオープン用プラスチック容器	可	メーカーにより認定されたプラスチック容器のみを使用してください。
<b>使い捨て容器</b>		
可燃物（紙、カードなど）	可	メーカーにより認定された可燃物のみを使用してください。
<b>その他の調理器具</b>		
タイラップ	不可	
刃物	不可	調理室で調理している間、台所用品が食品内にあってはなりません。
温度計	不可	

## 始動

- |    |   |   |
|----|---|---|
| 1. |    | <p>すべての関連する安全点検を行い、装置が清潔で空であることを確認します。<br/>装置の電源をオンにします。</p>  |
| 2. |    | <p>easyTouch®画面が点灯し、シリアル番号と装置データが短い間表示されます。<br/>必要であれば、画面を軽く1度タップすると、ディスプレイがフリーズされ、データが画面に表示されたままとなります。もう一度タップすると続行します。</p>           |
| 3. |    | <p>装置の予熱温度が複数設定されている場合、選択肢が表示されます。<br/>画面下部にスクロール用矢印が表示される場合、画面に表示されない他の温度設定が存在します。<br/>必要に応じてスクロール用矢印を使用してください。調理室を予熱する温度を選択します。</p> |
| 4. |  | <p>予熱中、調理室が設定された温度まで加熱する間、ディスプレイには進捗が表示されます。<br/>調理室の加熱を停止する場合は、画面下部の「X」シンボルをタッチします。</p>  |
| 5. |  | <p>「クックブック」が表示されると装置は使用できる状態になります。</p>  |

## 顧客へのガイダンスと指導

安全に関連するすべての機能と機器について、ユーザーに指示してください。  
装置の使用方法について、ユーザーに指示してください。

## 7.3 メインメニュー画面

### 外観



### 各ボタンとその機能

ボタン	意味	機能
	作成モード	「作成モード」を用いて、複数段の調理プロファイルを作成し、名前とシンボルを付けて、後で利用できるよう保存できます。
	プレス&ゴー	「プレス&ゴー」機能を用いると、既に保存されている調理プロファイルを素早く使用できます。
	クックブック	「クックブック」には、装置のメモリに保存された調理プロファイルが含まれます。お好みのプロファイル、調理プロファイルのグループ、利用可能なすべての調理プロファイルの完全な一覧を表示します。
	清掃/温度変更	「清掃/温度変更」では、調理室の温度を変更し、装置を清掃用に準備できます。清掃作業の間、注意事項が表示されます。
	設定	「設定」では、時刻と言語、調理プロファイルの読み込み、サービスやメンテナンス目的での装置の機能と設定を調整できます。

### easyTouch画面表示

easyTouch®画面表示、レイアウト、アイコンを以下に示します。これらは参考の目的のみで提供されており、装置で提供される内容を正確に反映していない場合があります。

## 7.4 キーボード画面

### 外観



### 各ボタンとその機能

ボタン	意味	機能
	キーボード画面	キーボード画面は、指定されたパスワードを入力してデータやプログラムを入力したり、操作者が一部の機能を使用不可にするために使用します。
	画面の消去	「画面の消去」キーを選択すると、キーボード画面からテキストが消去されます。
	キーボード	テキストを入力するために使用します。
	スペースバー	「スペースバー」キーは空白を入力するために使用します。
	リターン	「リターン」キーは改行するために使用します。
	キーボードスクロール	上下の矢印は、キーボード画面をスクロールするために使用します。
	エンター/OK	緑のチェックマークを選択すると、設定を確定して続行できます。
	前画面	「バックスペース」キーは前の画面に戻るために使用します。

### 文字の長さ

- 調理プロファイルの名前、調理プロファイルグループの名前、パスワードは、1～20文字、2行以内になるようにしてください。
- 各調理プロファイルの各ステップの指示は1～54文字、5行以内になるようにしてください。

## 8 調理手順

### 本章の目的

---

本章は、オープンレンジの操作方法と、調理で従うべき手順を記載します。  
「調理の操作原則と指示」は、調理手順をステップ毎に解説したガイドです。

### 目次

---

本章には以下のトピックが含まれます：

	ページ
基本操作と調理手順	62
操作手順：フルモード	68

## 8.1 基本操作と調理手順

### 目次

---

本セクションには以下のトピックが含まれます：

	ページ
装置の取り扱いにおける安全	63
オープン電源のオン/オフ	65
調理方法	66

## 8.1.1 装置の取り扱いにおける安全

### ご自身の安全と作業者の安全

作業者がオープンレンジを初めて扱う前に、「安全にお使いいただくために」(14ページ)に記載されている情報をご自身でよく理解し、必要な安全対策を講じてください。

作業者が作業を開始する前に、安全関連の規則を学び、厳格に従うよう指導してください。

本セクションおよび以下のその他の指示に記載されている安全警告を熟知するよう作業者に指導し、指定された注意事項を守る重要性を教えてください。

### 作業者の個人用保護具

関連する作業について、「安全にお使いいただくために」(14ページ)の「個人用保護具」(37ページ)で指定された適切な個人用保護具を着用するよう、作業者に指示してください。

### 安全な操作に関するルール

危険を避けるため、操作時は以下の規則を遵守する必要があります：

- 装置背面の排気口および装置前面、ドア下の吸気口をは覆ったり、障害物を設置したり、塞がないでください。

### 車輪付きトロリーに配置された装置の安全な操作に関する追加規則

危険を避けるため、車輪付きのトロリーに配置された装置の操作時は以下の規則を遵守する必要があります：

- 前方車輪の駐車ブレーキは、装置の操作時は常にロックしておいてください。
- 毎日、操作前に車輪のブレーキがかかっていることを確認してください。

### 重量物の取扱い

重量のある容器を持ち上げたり、重量のある運搬用トロリーを移動することにより疲労および不快感が発生する場合があります、移動する機器に故障が発生する可能性があることを作業者に伝えてください。

### 高温表面

#### WARNING

##### 調理室内と装置のドア内部が高温になることによる火傷の危険

調理室の内部、装置のドア内部、調理時のオープン内部の部品に触れると、火傷が発生する可能性があります。個人用保護具を着用してください。

### 高温蒸気/湯気

#### WARNING

##### 高温蒸気と湯気により生じる炎症の危険

放出される高温の蒸気と湯気は、顔および手の炎症の原因となります。

- ▷ ドアを開ける場合、また「冷却」機能を用いて調理室を冷却する際、装置から離れて、開いたドアから漏れる高温の蒸気と湯気に身体が触れる事態を避けてください。

## 高温の液体

---

### **▲WARNING**

#### 高温液体で生じる炎症のリスク

液体がこぼれ出る食材は顔および手の炎症の原因となります。

- ▷ 適切なサイズの容器のみを使用してください。
- ▷ 食材の容器は適切に挿入してください。
- ▷ 液体や液化する食材を含む容器を調理する時は、すべてのユーザーからよく見える場所を確保できる棚の上に配置してください。液体や調理中に液化する食材を含む容器は常に水平方向に取り出ししてください。
- ▷ 個人用保護具を着用してください。

## 過度のマイクロ波エネルギー

---

### **▲WARNING**

#### 過度のマイクロ波エネルギーによる火傷の危険

#### 過度のマイクロ波エネルギー暴露を避けるための注意事項

- ▷ ドアを開いて操作すると危険なマイクロ波エネルギーに晒されるため、オーブンのドアを開いて操作することは避けてください。安全インターロックを解除したり、改ざんしないことが重要です。
- ▷ オーブンの正面と装置のドア間に物を置いたり、シーリングの表面に汚れや洗剤の残留物が堆積しないようにしてください。
- ▷ オーブンが破損している場合は操作しないでください。オーブンのドアが適切に閉まり、(1) ドア（ベント）、(2) ヒンジ、(3) ドアシールとシーリングの表面が破損していないことが特に重要です。
- ▷ オーブンは、適切な資格を有するサービス担当者以外は調整または修理を試みないでください。

## コールドチェーンの遮断

---

### **▲WARNING**

#### 食材の微生物汚染による危険

- ▷ 装置は、食材の一時的保管の目的には絶対に使用しないでください。
- ▷ 調理は絶対に意図的に中断しないでください。
- ▷ 停電後に装置が動作を再開した場合、再開までにかかった時間が食材の状態に影響します。懸念がある場合には食材を廃棄してください。

## 8.1.2 オープンの電源のオン/オフ

### ▲ オープンレンジの使用における安全

作業を開始する前に、「装置の取り扱いにおける安全」(63ページ)に記載された規則および危険警告に関する注意をよく読み、これらの指示に従うことが不可欠です。

#### オープンレンジの電源オン

- |    |   |   |
|----|---|---|
| 1. |  | オープンレンジの電源をオンにします。  |
| 2. |  | <p>ソフトウェアの使用準備が整うまで待ちます。</p> <p>注意：<br/>左側に見えるメインメニュー画面はフルサービスモードのみで表示されます。</p> |

#### 一日の作業がすべて終了した後の装置の電源オフ

- |    |   |   |
|----|---|---|
| 1. |   | 清掃スケジュールで指定された通りに、必要な清掃作業を行います。   |
| 2. |  | オープンレンジの電源をオフにします。  |
| 3. |  | <p>装置のドアを半開きにして湿気を逃がします。</p> <p>注意：<br/>長期間にわたって使用しない場合は電源をオフにしてください。</p> |

### 8.1.3 調理方法

#### ▲ オープンレンジの使用時の安全のために

作業を開始する前に、「装置の取り扱いにおける安全」(63ページ)に記載された規則および危険警告に関する注意をよく読み、これらの指示に従うことが不可欠です。

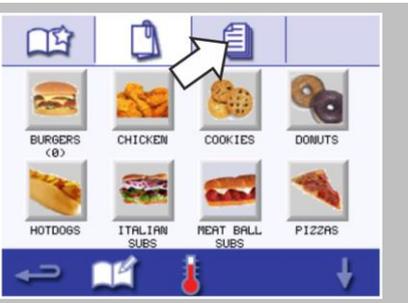
#### 要件

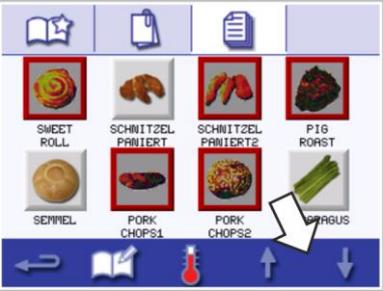
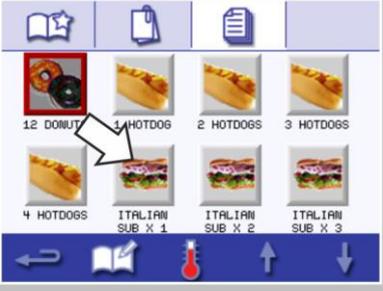
- 調理する食材に合わせて保存された調理プロファイルを選択するか、新たな調理プロファイルを入力し、これらのプロファイルを実行できる程度にソフトウェアの使用方法を理解していること。
- オープンレンジと付属品や金具が適切に清掃されていること。
- 異物が調理室内に残っていないこと。
- エアフィルターが装置のドアの前方、下側に取付けられていること。

#### 調理方法

1. クックブックから調理プロファイルを選択するか、新たな調理プロファイルを入力します。
2. ソフトウェアが表示するプロンプトに従います。
3. 装置のドアを開けます。
4. 準備を済ませた食材をオープンレンジに入れます。
5. 装置のドアを閉じます。
6. 調理プロセスを開始します。
7. 調理プロセスが終了するまで待ちます。
8. 調理プロセスが終了すると音で通知されます。ソフトウェアが表示するプロンプトに従います。
9. 装置のドアを開けます。
10. 食材を取り出します。
11. 装置のドアを閉じます。

#### 調理プロファイル (クイックモード) の使用

1.  「すべてのメニュー」シンボルを選択します。

2.		<p>上下のスクロール矢印を使用して調理プロフィールを探します。</p> <p>注意： このプロフィールには調理室の温度が高すぎるか、低すぎる場合には、画像に赤枠が表示されます。 「調理室の温度変更」(74ページ)を参照してください。 調理プロフィールを開始する前に、食材が調理室内にあることを確認します。 火傷を避けるために必要な対策を講じてください。 装置のドアを開き、食材を高温の調理室に入れ、ドアを閉じます。</p>
3.		<p>必要な調理プロフィールを選んで調理を開始します。 例: 「ITALIAN SUB x1」(イタリア風サンドイッチ x 1)。</p> <p>警告： ドアと調理室内の表面は高温になっています</p>
4.		<p>調理プロフィールがすぐに開始され、カウントダウンタイマーを表示されるか、または先に指示が表示されます。 各ステップの指示に従い、緑のチェックマークを押して調理プロフィールを開始します。</p>
5.		<p>調理タイマーはゼロまでカウントダウンされ、調理プロフィールまたは調理プロフィールのステップが終了し、操作者の作業が必要であることを音で知らせます。 調理プロフィールが終了したら、装置のドアを開け、調理室から食材を取り除きます。 表示内容は「クックブック」に自動的に戻ります。</p> <p>注意：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>調理中にドアを開くと、調理プロフィールが停止し、警告が表示されます。</li> <li>ドアを閉じると、調理プロフィールの継続またはキャンセルを選ぶことができます。</li> </ul> <p>調理中に調理室の温度を確認するには、表示された温度を軽くタップしてください。調理室の温度がアスタリスクと共に表示されます。</p>

## 8.2 操作手順：フルモード

### 目次

---

本セクションには以下のトピックが含まれます：

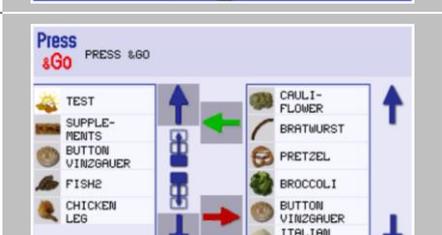
	ページ
プレス&ゴーメニュー	69
調理プロファイルの使用	70
調理プロファイルの作成	71
調理プロファイルの使用	74
調理プロファイルグループの管理	77
オープンレンジの基本設定	81
USBメモリの使用	89

## 8.2.1 プレス&ゴーメニュー

### プレス&ゴーメニューからの調理プロファイルの実行

- |    |  |  |
|----|--|--|
| 1. |   | メインメニューで「プレス&ゴー」を選択します。                            |
| 2. |   | 必要な調理プロファイルを選択します。                                 |
| 3. |  | 画面に調理時間のカウントダウンが表示されます。調理サイクルが終了するとタイマーバーが赤に変わります。 |

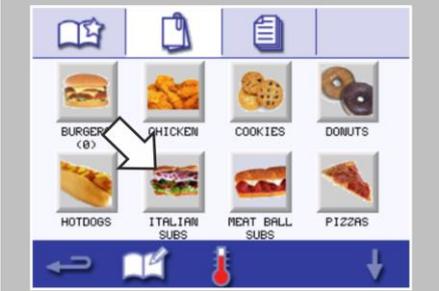
### プレス&ゴーメニュー画面に表示される調理プロファイルの選択

- |    |   |  |
|----|---|--|
| 1. |  | メインメニュー画面から「プレス&ゴー」を選択後、「クックブックの編集」シンボルを選択します。   |
| 2. |  | 2つのリストが表示されます。左側のリストは「プレス&ゴー」メニューに含まれる調理プロファイルを表示します。右側のリストはその他の利用可能な調理プロファイルを表示します。両方のリストでは、それぞれの右側にある青い矢印で上下にスクロールできます。                          |
| 3. |  | 左側のリストから調理プロファイルを選びます。リスト内で位置を変更するか、右側のリストに移すかを選択します。左側の調理プロファイルを変更するには、中央の青の上下矢印を使用します。選択した調理プロファイルを「プレス&ゴー」メニューに移すか、またはそこから外すには、中央の緑/赤の矢印を使用します。 |
| 4. |  | 右側のリストに含まれる調理プロファイルを「プレス&ゴー」メニューに移すには、左側のリストに移動させます。   |
| 5. |  | 終了したら、バックスペースを選択して「プレス&ゴー」メニュー画面に戻ります。   |

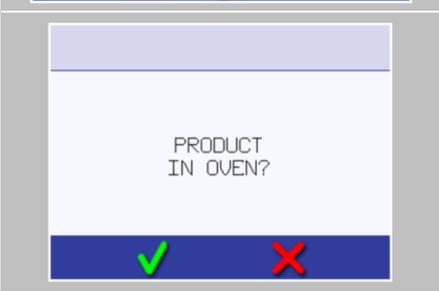
## 8.2.2 調理プロファイルの使用

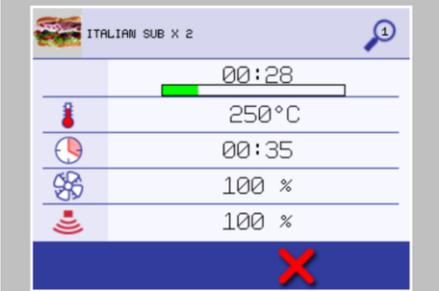
### 調理プロファイルの使用

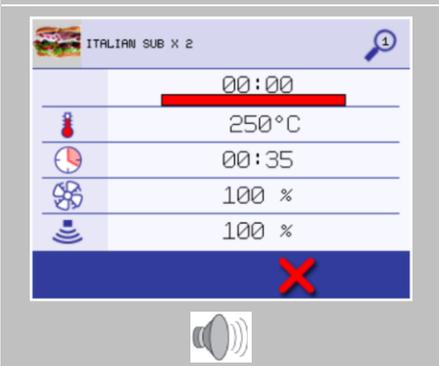
- 

メインメニュー画面から「クックブック」シンボルを選択します。
- 

「ITALIAN SUBS」(イタリア風サンドイッチ)などの調理プロファイルのグループを選択し、個別の調理プロファイルを表示させます。
- 

例えば、「ITALIAN SUB x 2」(イタリア風サンドイッチ x2)などの調理プロファイルを選択して開始します。
- 

画面上に指示が表示される場合にはそれに従います。  
緑のチェックマークを押して調理します。
- 

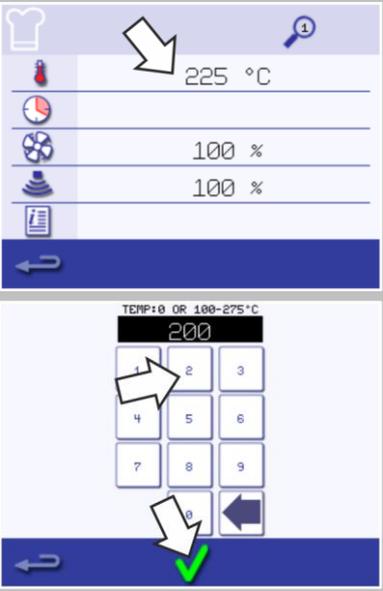
調理時間は、各プログラムページでカウントダウンされます。
- 

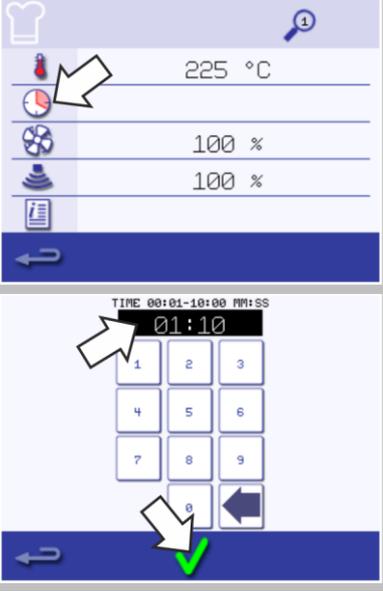
調理プロファイルが終了すると、通常は音による通知と共に赤いバーが表示されます。ドアを開け、赤の「X」にタッチすると調理プロファイルに戻ります。  
調理中にドアを開くと調理プロファイルが停止し、警告が表示されます。  
ドアを閉じると、調理プロファイルの継続またはキャンセルを選ぶことができます。

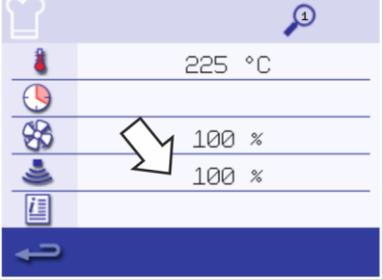
## 8.2.3 調理プロファイルの作成

### 調理プロファイルの作成

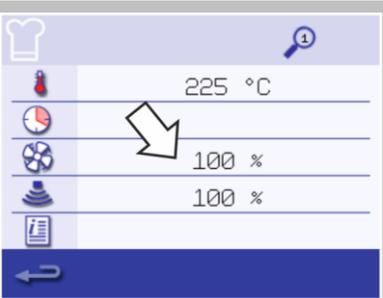
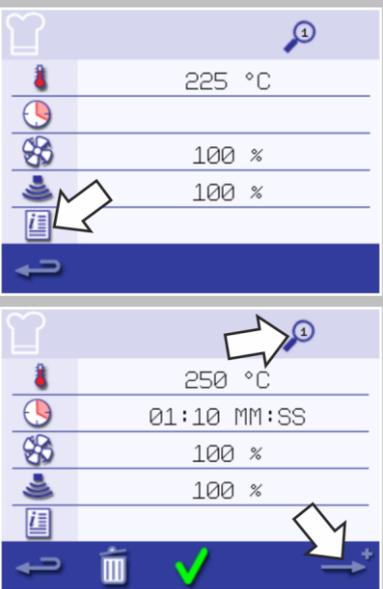
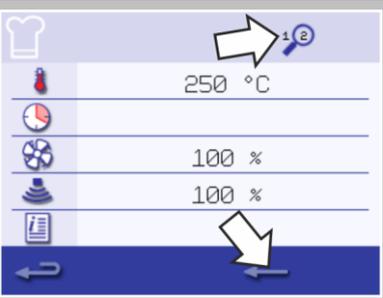
1. 

メインメニュー画面から「シェフの帽子」シンボルを選択して作成モードに入ります。
2. 

温度値は、調理室の予熱で設定される温度を示します。  
必要に応じて温度を上下させる場合は、「温度」シンボルを選び、温度値を表示された制限内でキーパッドを使って入力します。  
緑のチェックマークを押して続行します。
3. 

「時計」シンボルを選択します。  
キーパッドを使って調理時間を入力します。各段階で最長10分間が設定できます。  
例：110を入力(1分と10秒)。  
緑のチェックマークを選択して、入力した値を保存します。
4. 

「マイクロ波」シンボルを選択します。  
キーパッドを用いてマイクロ波出力を入力します(0と5~100%)。  
緑のチェックマークを選択して、入力した値を保存します。

5.  「ファン」シンボルを選択して、画面に示された範囲内でファンの速度を設定します。  
緑のチェックマークを選択して、入力した値を保存します。
6.  「情報」シンボルを選択して、選択した段階における指示を入力します（オプション）。  
例:「Stage 1 - place a food product into the cavity」(ステージ1 - 食材を調理室内に入れる)。  
調理では、そのステージの初めに、指示が画面内に表示されます。入力した指示を保存するには緑のチェックマークを選択します。新たなステージを追加するには下の「+」シンボルのある右側の矢印を選びます。  
ステージを削除するには「ゴミ箱」シンボルを押します。
7.  調理プロフィールには、最高で6つのステージを含めることができます。  
新しいステージを作成するには、上記のステージ1の2~6のステップを繰り返します。  
上にある「虫眼鏡」シンボルは、画面上に表示されているステージを示します。  
設定されたステージの間を移動するには、下にある左右の矢印を選択します。

### 調理プロフィールの実行と保存

1.  緑のチェックマークを押して調理プロフィールを確定します。
- 警告：**  
調理プロフィールを開始する前に食材が調理室内に配置されており、すべての安全注意事項が遵守されていることを確認してください。

2.  「開始」シンボルを選択し、調理プロフィールを実行します（オプション）。  
結果に満足できない場合には、バックスペースシンボルを選択肢、調理設定を変更してもう一度試します。
3.  調理プロフィールをクックブックへ保存するには「クックブックの保存」シンボルを選択します。
4.  「カメラ」シンボルを選択して写真を開きます。
5.  新しい調理プロフィールを表す写真を選択します。  
スクロール矢印を使用すると、さらに多くの写真が表示されます。
6.  調理プロフィールを名前を入力します。「1 PIZZA」（1 ピザ）など、最長20文字までで入力します。  
緑のチェックマークを押して調理プロフィールをクックブックに保存します。  
「クックブック」シンボルの緑のチェックマークは、調理プロフィールがクックブックに保存されたことを示します。

## 8.2.4 調理プロファイルの使用

### 調理室の温度の変更

- 

調理プロファイルに必要な調理室の温度をメモします。  
緑のチェックマークを押して続行します。
- 

「温度」シンボルを選択します。
- 

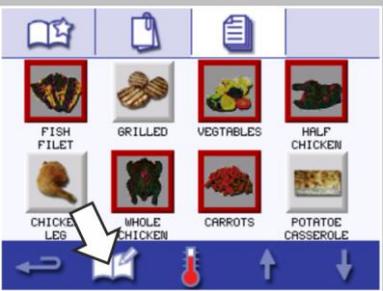
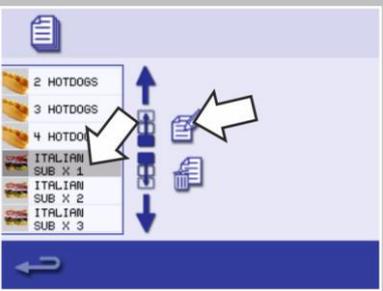
温度の横にあるアスタリスクは、現在の調理室の温度を示します。  
調理プロファイルに必要な調理室の温度を選択します (250° C / 482° F など)。  
調理室が必要な温度に達したら、ステップ1の「クックブック」の選択から続行してください。

### 調理プロファイルの閲覧と編集

- 

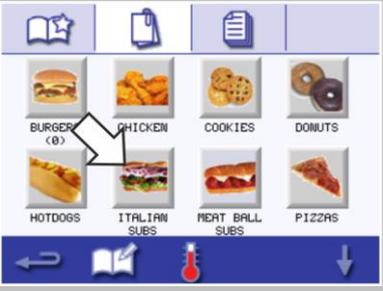
メインメニュー画面で「クックブック」シンボルを選択します。
- 

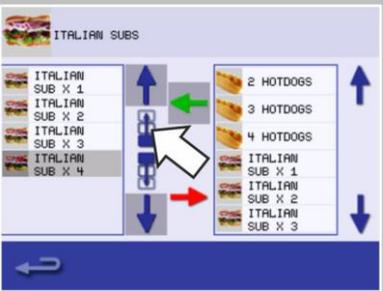
「すべてのメニュー」シンボルを選択します。

3.  「クックブックの編集」シンボルを選択します。
4.  画面右側の上下のスクロール矢印を使用して「ITALIAN SUB x 1」（イタリア風サンドイッチ x1）などの調理プロフィールを選びます。  
「調理プロフィールの閲覧/編集」シンボルを選択します。
5.  必要に応じて調理プロフィールを閲覧または編集します。  
詳細は「作成モード」を参照してください。

### 調理プロフィールのグループに調理プロフィールを移動する

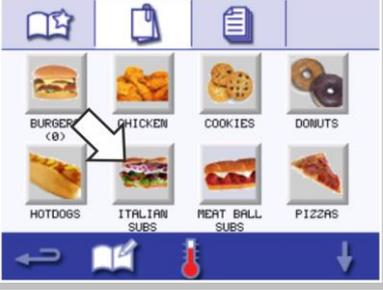
例：「ITALIAN SUBS x 4」（イタリア風サンドイッチ x4）調理プロフィールの位置を、「ITALIAN SUBS」（イタリア風サンドイッチ）の調理プロフィールグループ内で移動する。

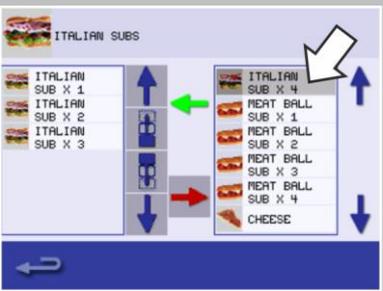
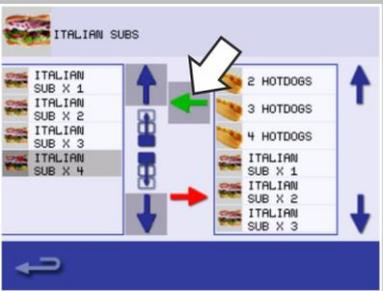
1.  メインメニュー画面で「クックブック」シンボルを選択します。
2.  「ITALIAN SUBS」（イタリア風サンドイッチ）調理プロフィールのグループを選択します。

3.  「クックブックの編集」シンボルを選択します。
4.  「ITALIAN SUB x 4」(イタリア風サンドイッチ x4) など、移動する調理プロファイルを選びます。  
「編集」画面左側の上下のスクロール矢印を使用して、調理プロファイルグループ内で選択した調理プロファイルの位置を移動します。
5.  「クックブック」画面に戻るにはバックスペースボタンを使用します。

### 調理プロファイルのグループに調理プロファイルを追加する

例：「ITALIAN SUB x 4」(イタリア風サンドイッチ x 4) 調理プロファイルを「ITALIAN SUBS」(イタリア風サンドイッチ) 調理プロファイルグループに追加する。

1.  メインメニュー画面で「クックブック」を選択します。
2.  「ITALIAN SUBS」(イタリア風サンドイッチ) 調理プロファイルグループを選択します。
3.  「クックブックの編集」シンボルを選択します。

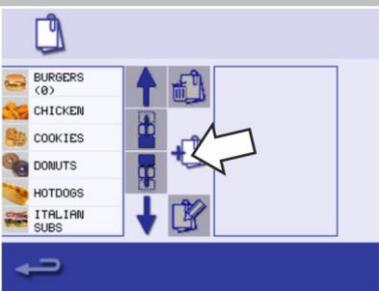
- |   |   |
|---|---|
| <p>4.</p>  | <p>画面右の右端にある上下のスクロール矢印を使用して「ITALIAN SUB x 4」（イタリア風サンドイッチ x4）調理プロファイルを検索して選択します。</p>                                   |
| <p>5.</p>  | <p>緑の「左」矢印を使用して、「ITALIAN SUBS x 4」（イタリア風サンドイッチ x4）調理プロファイル画面左側の調理プロファイルグループに追加します。<br/>バックスペースを使用して調理プロファイルに戻ります。</p> |
| <p>6.</p>  | <p>バックスペースを使用して「クックブック」に戻ります。</p>   |

## 8.2.5 調理プロファイルグループの管理

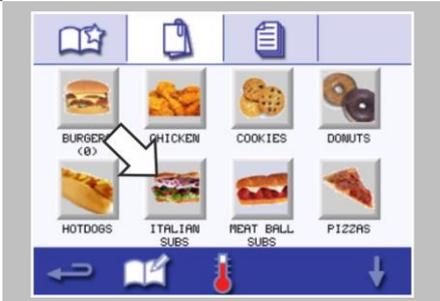
### 調理プロファイルグループのリストで調理プロファイルグループを移動する

- |   |  |
|---|--|
| <p>1.</p>  | <p>メインメニュー画面で「クックブック」シンボルを選択します。</p>   |
| <p>2.</p>  | <p>「クックブックの編集」シンボルを選択します。</p>  |
| <p>3.</p>  | <p>大型のスクロール矢印を使用して、すべての調理プロファイルグループを探します。</p>  |
| <p>4.</p>  | <p>移動する調理プロファイルのグループを選択します。<br/>画面中央にある小型の上下スクロール矢印を使用して、リスト内で選択した調理プロファイルの位置を移動します。</p> |
| <p>5.</p>  | <p>バックスペースボタンを使用して「クックブック」画面に戻ります。</p>   |

### 新規調理プロフィールグループの追加

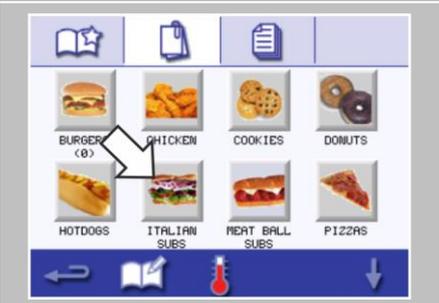
1.  メインメニュー画面で「クックブック」を選択します。
2.  「クックブックの編集」シンボルを選択します。
3.  「新規調理プロフィールグループの追加」シンボルを選択します。
4.  「カメラ」シンボルを選択して写真データベースを開きます。
5.  データベースから、調理プロフィールグループを示す写真を選択します。  
画面下端のスクロール矢印を使用すると、さらに多くの写真が表示されます。
6.  新規調理プロフィールグループの名前を入力します（最大20文字）。  
緑のチェックマークを押して、調理プロフィールグループをクックブックに保存します。
7.  バックスペースボタンを使用して「クックブック」画面に戻ります。

### 選択した調理プロファイルグループ名の編集

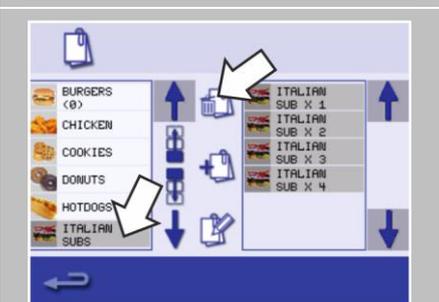
1.  メインメニュー画面で「クックブック」シンボルを選択します。
2.  調理プロファイルグループを選択します。
3.  「クックブックの編集」シンボルを選択します。
4.  「調理プロファイルグループの編集」シンボルを選択します。
5.  調理プロファイルグループの新しい名前を入力します。  
緑のチェックマークを押して続行します。

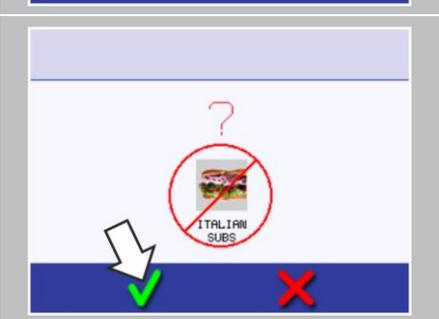
## 調理プロファイルグループの削除

- 

メインメニュー画面で「クックブック」シンボルを選択します。
- 

調理プロファイルグループを選択します。
- 

「クックブックの編集」シンボルを選択します。
- 

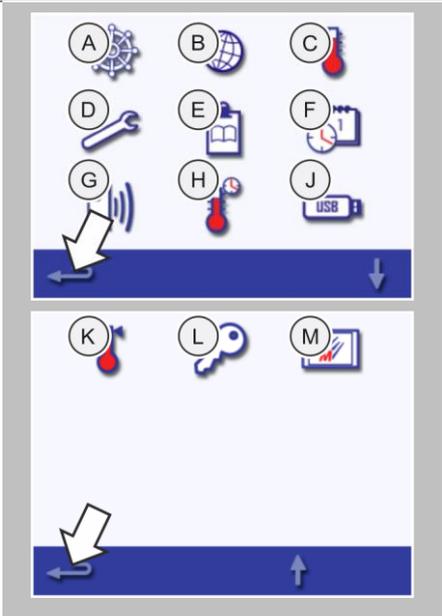
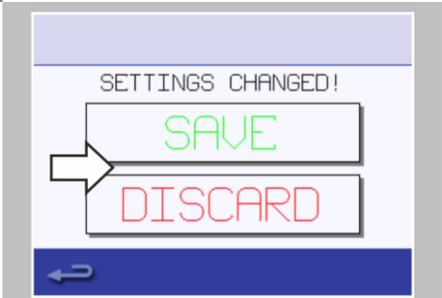
クックブックから削除する調理プロファイルグループを選択します。  
「調理プロファイルグループの削除」シンボルを選択します。
- 

調理プロファイルグループを削除するには緑のチェックマークを押します。

注意：  
調理プロファイルグループをクックブックから削除しても、「すべてのメニュー一覧」からは削除されません。

## 8.2.6 オープンレンジの基本設定

### 制御設定とアイコン

- |    |   |   |
|----|---|---|
| 1. |    | メインメニュー画で「設定」シンボルを選択します。  |
| 2. |    | パスワードを入力します。<br>緑のチェックマークを選択して「設定」メニューを表示します。   |
| 3. |   | <p>「設定」メニューには以下の機能があります：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>A. 操作モード/ナビゲーション設定</li> <li>B. 言語オプション</li> <li>C. 温度設定とラベル</li> <li>D. サービス情報とエラーログ（パスワードが必要です）</li> <li>E. 調理プロフィールカウンター</li> <li>F. 日付と時刻の設定</li> <li>G. スピーカー音量レベル</li> <li>H. タイマー(温度/オン/オフ)</li> <li>J. USBプログラム接続</li> <li>K. 温度範囲（「Temp Band」）</li> <li>L. 設定変更/サービスアクセスパスワード</li> <li>M. スクリーンセーバー</li> </ul> <p>設定を完了したら、バックスペースを使用してメイン設定メニューに戻ります。</p> <p>画面下端の上下スクロール矢印を使用すると、「設定」メニュー内のすべての機能が表示されます。</p> |
| 4. |  | <p>「設定」メニューを終了するにはバックスペースボタンを使用します。</p> <p>プロンプト画面で、設定の変更内容を「SAVE」（保存）または「DISCARD」（廃棄）します。</p>  |

## 操作モード/ナビゲーション設定

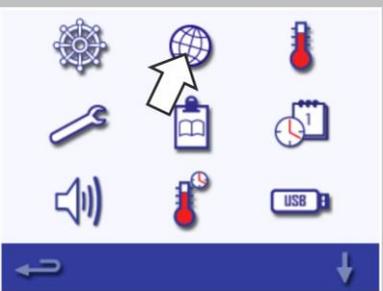
- 

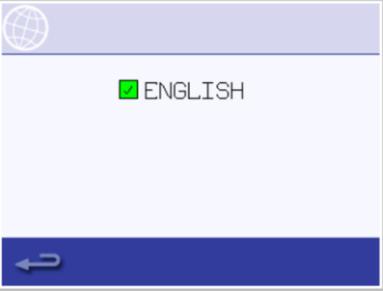
「設定」メニューで「操作モード/ナビゲーション」シンボルを選択します。
- 

調理のみの場合は「QUICK SERVE MODE」(クイックモード)を選択します。  
調理プロファイルを作成するには「FULL SERVE MODE」(フルモード)を選択します。  
「MANUAL MODE」(手動モード)を選択すると、メインメニュー画面上の「シェフの帽子」シンボルのみを使って調理することになります。  
「ENABLE SETTINGS」(設定有効)を選択すると、「クイックモード」画面上に「ロック解除」シンボルが表示され、「設定」メニューにアクセスできるようになります。

注意：  
緑のチェックマークが表示されている場合、対応する機能が有効であることを示します。
- すべての調理プロファイルでマグネトロン予熱時間を有効にする場合は、「MAGNETRON ENERGY DELAY」(マグネトロンエネルギー遅延)を選択します。  
オープンが作動していない場合にハイバネーションモードを有効にするには、「ENERGY SAVING」(省電力)を選択します。

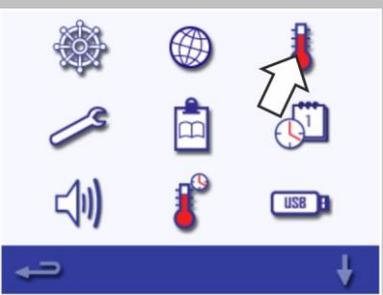
## 言語オプション

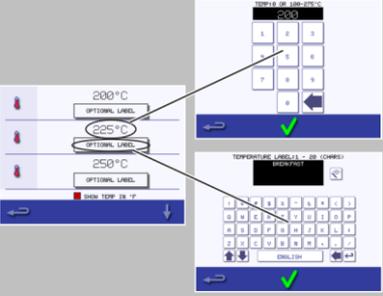
- 

「地球儀」シンボルを選択します。
- 

一覧表示される言語から、必要な言語にチェックを入れます。

## 調理室の温度設定とラベル

- 

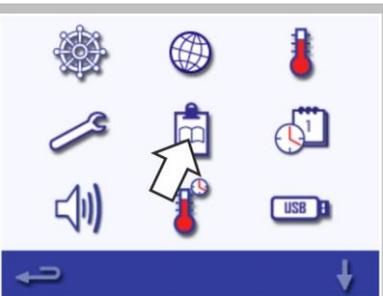
「温度」シンボルを選択して調理室の予熱温度を変更します。表示されるキーパッドで、必要な温度を入力してOKを選択します。温度オプション画面は、複数の調理室温度が最低温度以上に設定されている場合のみ、起動時に表示されます。
- 

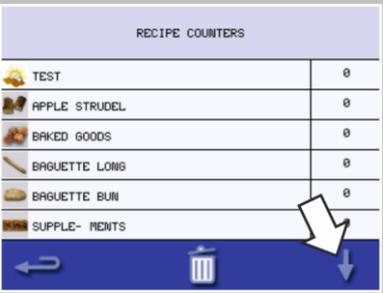
温度ラベルを変更するには、ラベルを選択します。表示されるキーパッドで、必要なラベル名を入力してOKを選択します。

## サービス情報とエラーログ

サービス情報とエラーログについては、「故障の対応」(113ページ)を参照してください。

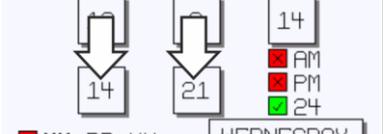
## 調理プロフィールカウンター

- 

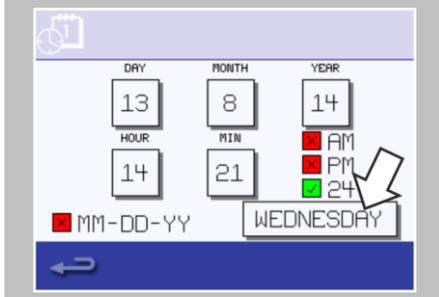
「クリップボード」シンボルを選択して、調理プロフィールカウンターの一覧を表示します。
- 

調理プロフィールカウンターが表示されたら、画面下端の上下スクロール矢印を使用して画面をスクロールします。

## 日付と時刻設定

1.  「時計/日付」シンボルを選択して設定オプションを表示します。
- 
2. **日付を変更：**
- 2.1  「MONTH」(月)を選択し、キーパッドに正しい月を入力してOKを選択します。
- 2.2  「DAY」(日)を選択し、キーパッドに正しい日を入力してOKを選択します。
- 2.3  「YEAR」(年)を選択し、キーパッドに年の下2桁を入力してOKを選択します。  
月、日、年の順番で表示を行う場合は、「MM-DD-YY」チェックボックスを選択します。  
エラーログもこの日付設定で記録されるため、正しい日付を入力してください。
3. **時刻を変更：**
- 3.1  「HOUR」(時)を選択し、キーパッドに正しい時刻を入力してOKを選択します。
- 3.2  「MIN」(分)を選択し、キーパッドに正しい分を入力してOKを選択します。

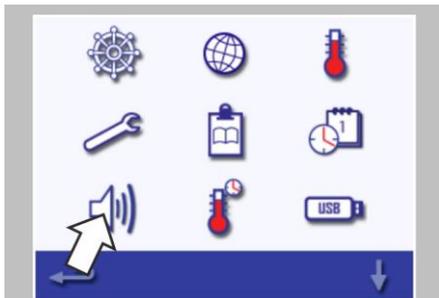
3.3



表示される曜日をスクロールして正しい曜日を選択します。

## 音量レベル

1.



「スピーカー」シンボルを選択すると、音量、音色、その他の音声設定が行えます。

2.



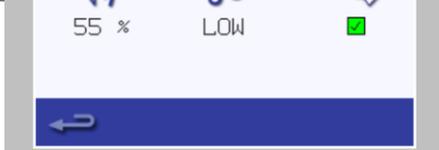
「スピーカー」シンボルを選択し、周辺環境に適した音量レベルをゼロ（オフ）から最大（100%）までの範囲で調節します。

3.



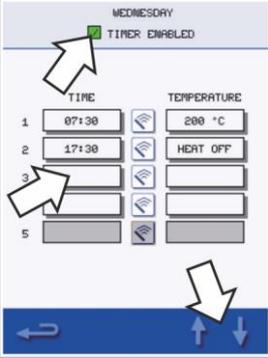
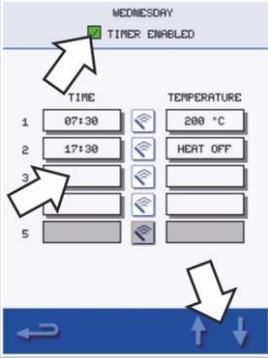
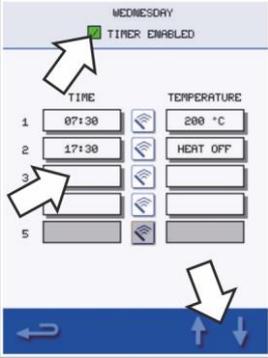
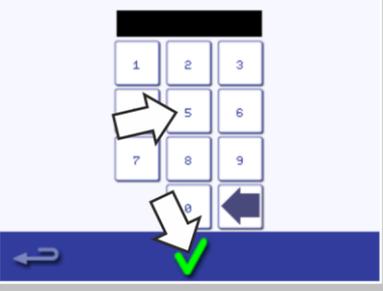
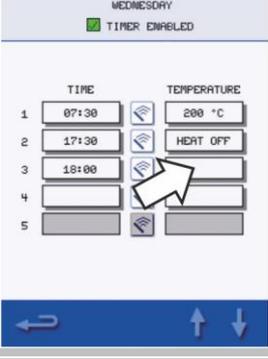
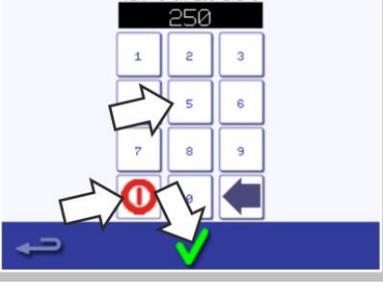
「音符」シンボルを選択して、LOW（低）、MED（中）、HIGH（高）の音を選択します。

4.



「キーパッド」シンボルを選択して、タッチ画面にタッチした時の音をオンまたはオフにします。

## オーブタイマー

1.  「温度計/タイマー」シンボルを選択します。
2.  「タイマー有効」チェックボックスを選択します（緑のチェックマーク）。
3.  画面下端にある上下の矢印を使用して曜日を選択します。
4.  空白の「時刻」ボックスを選択します（1日5つまで）。  
または、その横にある「消去」シンボルで「時刻」ボックスをクリアすることもできます。
5.  開始時刻をキーパッドで入力します。  
緑のチェックマークを押して続行します。
6.  先ほど入力した時刻が表示されている「時刻」ボックスの反対側にある空白の「温度」ボックスを選択します。  
または、その横にある「消去」シンボルで「温度」ボックスをクリアすることもできます。
7.  調理室の温度をキーパッドで入力します。  
または、ゼロを選択して、加熱をオフにすることもできます。  
または、赤い円のシンボルを選択して装置の電源をオフにすることもできます。  
緑のチェックマークを押して続行します。

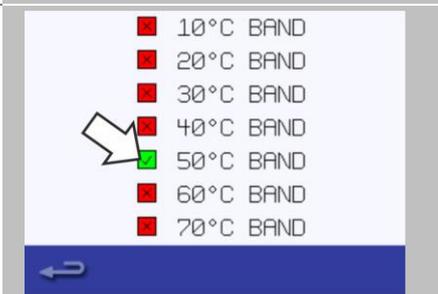
## 温度バンド

1.



「温度範囲」シンボルを選択します。

2.



必要な温度範囲のチェックボックスを選択します。緑のチェックが表示されます。

通常は、実際に使用可能な温度から最も低い「温度範囲」を選んでください。

設定された調理室温度が選択された「温度範囲」よりも下がる場合、調理室がプリセットされた予熱温度に達するまで即時調理モードと「温度範囲」は無効になります。

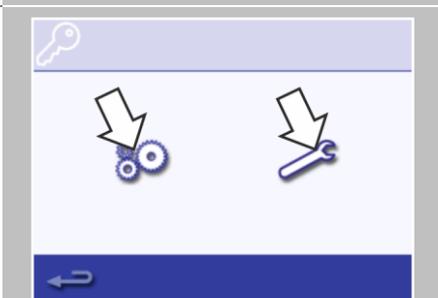
## パスワードを変更

1.



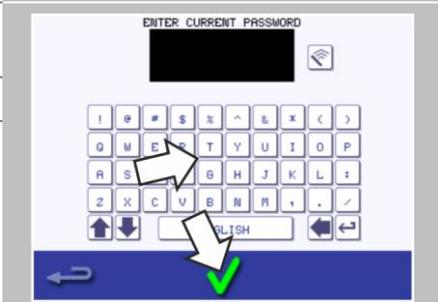
装置のパスワードを変更するには「鍵」シンボルを選択します。

2.



装置の「設定」または「サービス」シンボルを選択します。

3.



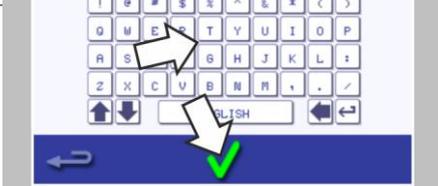
現在のパスワードを入力し、緑のチェックマークを押して確定します。

4.



新しいパスワードを入力し、緑のチェックマークを押します。

5.



新規パスワードをもう一度入力し、緑のチェックマークをもう一度押します。

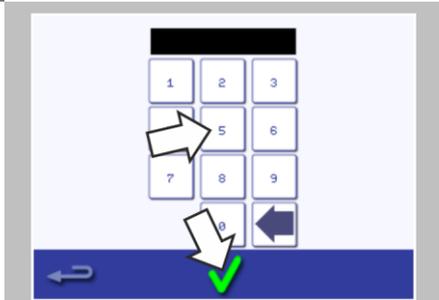
## スクリーンセーバーの設定

1.



スクリーンセーバーをオンまたはオフに切り替えるには「ENABLED」(有効済) チェックボックスを選択します。  
下にある「時刻」ボックスを選択します。

2.



キーボードで、スクリーンセーバー開始までの時間を1～60分の範囲で入力します。  
緑のチェックマークを押して確定します。

3.



スクリーンセーバーが有効になると、画面では画像が移動します。  
タッチ画面を使用するには、画面にタッチしてスクリーンセーバーを解除してください。

## 8.2.7 USBメモリの使用

### ▲ 装置を安全に使用するために

作業を開始する前に、「装置の取り扱いにおける安全」に記載された規則および危険警告に関する注意をよく読み、これらの指示に従うことが不可欠です。

### USBカバーの目的

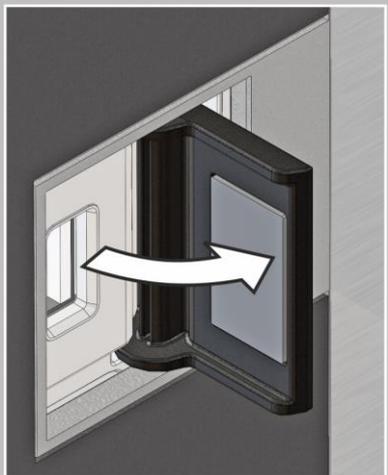
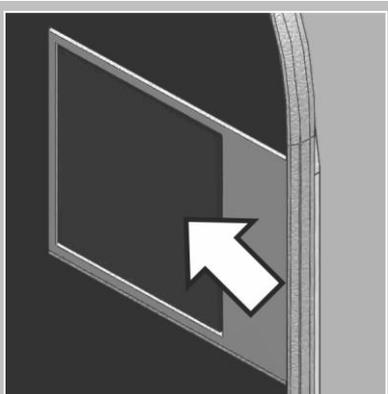
USBカバーは、調理中や清掃中に水分が電子制御系統に侵入しないよう、USBポートを保護します。調理中および清掃中にはUSBメモリは挿入しないでください。また、USBポートにはカバーで覆ってください。

### USBプログラム

#### 重要：

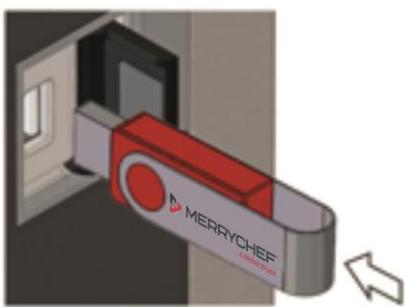
USBメモリからダウンロードすると、装置のメモリ内にあるすべての既存のプログラムは消去されます。キーに、メモリに読み込むプログラムの正しい番号/コードが格納されていることを確認してください（1 ‘.cbr’ + ‘autoupd.ate’）。

1.



装置の電源をオフにします。  
制御パネルのUSBポートのカバーを開きます。

2.



USBメモリを接続します。

USBメモリが大きすぎる場合、標準の市販アダプターケーブルを使用してください。

3.



装置の電源をオンにします。

ファイルがUSBメモリから自動でダウンロードされ、アップデートの進捗と確認の画面が表示されます。

4.



完了するとスタートアップ画面が表示されます。

その後、温度計シンボルが表示されます。

USBメモリを引き抜き、安全な場所に保管してください。

## 9 清掃手順

### 本章の目的

---

本章は、清掃の方法、清掃用の洗浄剤、それらの取り扱い、清掃手順の概要を説明します。オーブンレンジを清掃する際に従うべき適切な手順を説明します。

### 目次

---

本章には以下のトピックが含まれます：

	ページ
普段の清掃作業	92
洗浄剤	92
清掃に必要な用品	93
清掃における安全	94
清掃手順	96

## 9.1 普段の清掃作業

清掃すべき部分	手順	洗浄剤
調理室	柔らかい布やペーパータオルを使って拭き取る	製造業者により認定された洗浄剤および保護剤
装置の外装	柔らかい布を使って拭き取る	一般家庭用のステンレスクリーナーまたは硬質表面洗浄剤
容器、ベーキングシート、シェルフグリル、その他の調理用付属品	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 柔らかい非研磨性のスポンジを使って拭き取る</li> <li>▪ 洗浄後に水で洗い流す</li> </ul>	一般家庭用洗浄剤

## 9.2 洗浄剤

### 洗浄剤

オーブンレンジと付属品の清掃には、ここで指定された洗浄剤のみを使用してください。

製品	用途
Merrychef製洗浄剤	調理室と装置のドアの清掃
Merrychef製保護剤	調理室と装置のドアの保護
一般家庭用のステンレスクリーナーまたは硬質表面洗浄剤	オーブンレンジの外装の清掃
一般家庭用洗浄剤：皮膚刺激の少ない、非アルカリ性、中性PH、無臭の洗浄剤	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 該当する指示に基づく部品と金具の清掃</li> <li>▪ 容器、ベーキングシート、シェルフグリル、その他の調理用付属品の清掃</li> </ul>

### 洗浄剤の取り扱い

一部の洗浄剤の使用には、個人用保護具を着用する必要があります。

「個人用保護具」(37ページ)に記載される指示に従い、および洗浄剤および保護剤に関する有効な安全データシートを参照してください。

作業者は、オーブンレンジの責任者から定期的にトレーニングを受ける必要があります。

## 9.3 清掃に必要な用品

### 清掃に必要な用品

- Merrychef製洗浄剤
- Merrychef製保護剤



- ゴム製保護手袋
- 非研磨性のナイロン製スクラブパッド
- 清掃用タオルおよび布
- 眼の保護具
- 耐熱手袋 (オプション)
- 防塵マスク (オプション)



### 注意

- 装置には、鋭い器具や研磨性薬品は使用しないでください。
- 工具は使用しないでください。
- 装置には腐食性洗浄剤は使用しないでください。触媒コンバーターの恒久的な損傷の原因となります。

## 9.4 清掃における安全

### ご自身の安全と作業者の安全

作業者がオープンレンジを初めて扱う前に、「安全にお使いいただくために」(14ページ)に記載されている情報をご自身でよく理解し、必要な安全対策を講じてください。

作業者が作業を開始する前に、安全関連の規則を学び、厳格に従うよう指導してください。

本セクションおよび以下のその他の指示に記載されている安全警告を熟知するよう作業者に指導し、指定された注意事項を守る重要性を教えてください。

### 作業者の個人用保護具

関連する作業について、「安全にお使いいただくために」(14ページ)の「個人用保護具」(37ページ)で指定された適切な個人用保護具を着用するよう、作業者に指示してください。

### 車輪付きトロリーの安全な移動とセットアップに関する規則

危険を避けるため、車輪付きトロリーに配置された装置(オプションの付属品)を移動する際は以下の規則を遵守する必要があります:

- 装置の移動時はあらゆる接続ケーブルに注意を払ってください。車輪を接続ケーブル上に載せないでください。接続ケーブルに張力を加えたり、引っ張らないでください。
- 装置は、スタックキット(オプション付属品)を移動する前に電源との接続を外す必要があります。
- 装置は移動前にトロリーの上に放置して冷却させる必要があります。
- 装置内に食材が残っていないことを確認してください。
- 装置のドアは必ず締めてください。
- 装置がトロリーに搭載される場合は、保護衣服を必ず着用してください。
- 装置を元の位置に戻す際に水平であることが重要です。
- 装置を元の位置に戻したら、駐車ブレーキをロックしてください。
- どの位置でも、装置を支えるトロリーが転倒しないよう、細心の注意を払ってください。

### 装置への水の噴射

#### DANGER

#### 通電部品による感電の危険

装置の外装に水をかけると短絡の原因となり、装置に触れた際に感電を引き起こす可能性があります。

- ▷ 装置の外装および内装には水を噴射しないでください。
- ▷ 清掃中は必ずUSBカバーを閉じてください。

### 高温表面

#### WARNING

#### 装置の内部が高温になることによる火傷の危険

調理室の内部、装置のドア内部、調理時のオープン内部の部品に触れると、火傷が発生する可能性があります。

- ▷ 清掃作業を行う前に、調理室内が50° C / 122° F以下に冷却されるまで待つか、「冷却」機能を使用して調理室を冷却してください
- ▷ 個人用保護具を着用してください。

### 高温の調理室への水の噴射

**▲WARNING**

**高温蒸気による炎症の危険**

水を高温の調理室へ噴射すると、蒸気が発生し、炎症が発生する場合があります。

- ▷ 清掃作業を行う前に、調理室内が50° C / 122° F以下に冷却されるまで待つか、「冷却」機能を使用して調理室を冷却してください

**洗剤との接触**

---

**▲WARNING**

**皮膚、眼、呼吸器官の痒みの危険**

洗剤または保護剤に直接接触すると、皮膚、眼、呼吸器官に痒みを生じる場合があります。

- ▷ 洗剤や保護剤の煙や噴霧を吸い込まないようにしてください。
- ▷ 洗剤や保護剤が皮膚、眼、粘膜に接触しないようにしてください。
- ▷ 調理室内に保護剤を噴射して清掃しないでください。
- ▷ 個人用保護具を着用してください。

## 9.5 清掃手順

### オープンレンジの清掃

---

本章はオープンレンジを清掃する方法を記載します。

#### 目次

---

本セクションには以下のトピックが含まれます：

	ページ
清掃前の冷却手順	97
清掃に関する指示	99

## 9.5.1 清掃前の冷却手順

### ▲ 安全な清掃のために

清掃作業を開始する前に、「清掃における安全」(94ページ)に記載された規則および危険警告に関する注意をよく読み、これらの指示に従うことが不可欠です。

### 目的

オプションの「冷却」機能を使用すると、清掃のためにオープンレンジの調理室をより短時間で冷却することができます。

### 調理室の冷却

1.



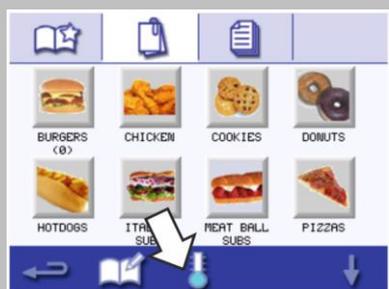
「フルモード」で、メインメニューで「清掃」シンボルを選択します。

2.



「フルモード」または「クイックモード」で、「青の温度計」シンボルを選択して加熱を停止し、冷却サイクルを開始します。プロンプトが表示されます。

または



PLACE A  
TRAY OF ICE  
IN THE OVEN

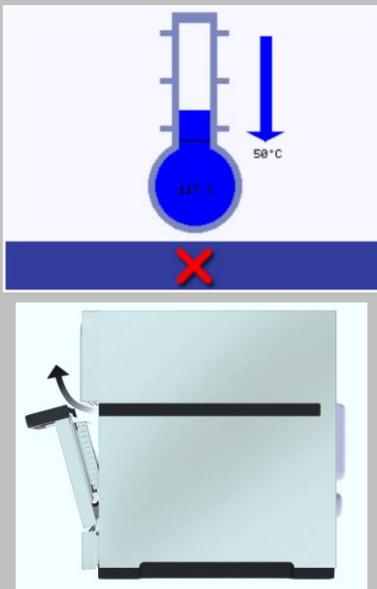


3.



最大の注意を払うため、製氷皿の氷を高温の調理室に置きます。これにより、より短時間で冷却することができます。緑のチェックマークを押して続行します。

4.



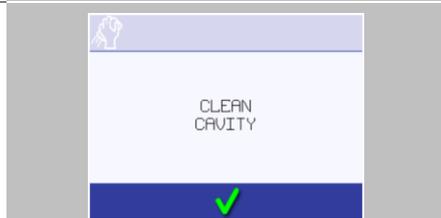
冷却の進捗が表示されます。約20分間かかります。冷却時間を短縮するため、冷却中は装置のドアを少し開けておきます。

5.



冷却が完了したら、保護手袋を着用し、調理室から冷却皿を注意して取り出します。

6.



これでオーブンの清掃準備は完了です。

## 9.5.2 清掃に関する指示

### ▲ 安全な清掃のために

清掃作業を開始する前に、「*清掃における安全*」(94ページ)に記載された規則および危険警告に関する注意をよく読み、これらの指示に従うことが不可欠です。

### 装置の清掃に関する要件

- 装置が適切に冷却されていること。
- 食材が調理室内に残っていないこと。
- 全ての容器、ベーキングシート、シェルフグリル、その他の付属品が調理室から取り除かれていること。

### お手入れ方法

#### オープンとオープン部品のお手入れ

1.



オープンのドアを開け、調理プレート/ワイヤーラック、その他すべての調理用の付属部品をオープン庫内から取り出します。

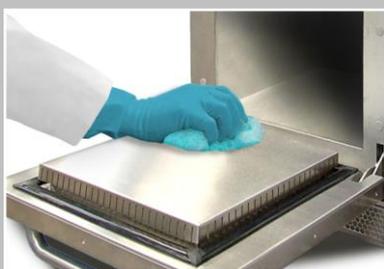
**注意:** この段階でエアフィルターを取り外し、他の部品と一緒に洗うことができます(エアフィルターの取り外し方については手順12~13を参照)。エアフィルターは後でを取り外して洗うこともできます(手順12~17を参照)。

**注意:** お手入れの際は、保護眼鏡とゴム製保護手袋を着用してください。

2.

取り出したすべてのオープン部品をぬるま湯と洗剤で洗います。清潔な布で汚れを落とし、十分な量の清潔なぬるま湯で汚れを洗い流します。  
新品の清潔な布で、すべての部品を拭きます。

3.



液体のはねやこぼれ染みがある場合は、適切な布やペーパータオルで拭き取ります。  
清潔な乾いたブラシを使って、オープンのドアと底面の間に挟まっている食品カスを除去します。

4.



Merrychef認定の化学洗浄剤を、スポンジに慎重に吹き付けます。

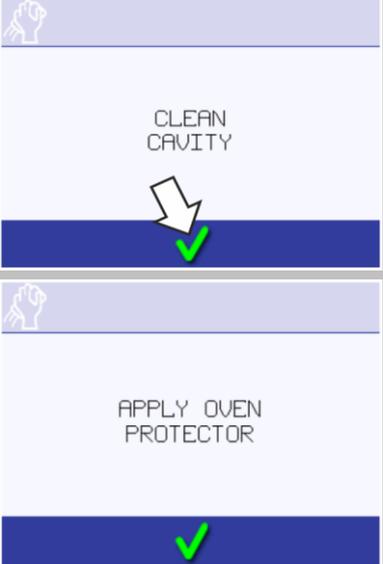
上面(ジェットプレート)とドアシールを除き、オープン庫内のすべての面の汚れを落とします。

**注意:**

オープン庫内に直接噴射しないでください。

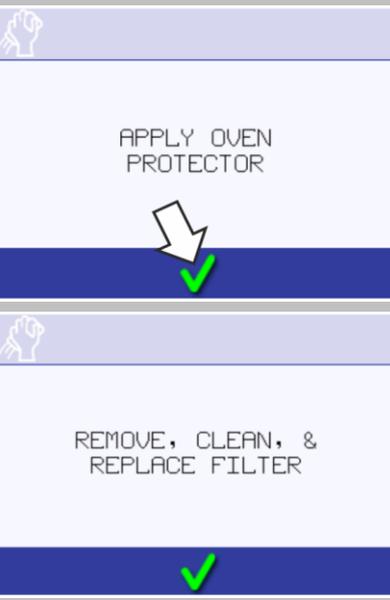
オープン庫内の上面のお手入れは避けてください。

本調理プレートに化学洗浄剤やオープン保護剤を使用しないでください。

<p>5.</p>		<p>お手入れが難しい部分は、洗浄液に浸し、オープンのドアを開けたまま10分放置してください。</p> <p>摩耗防止のナイロン製スクラブパッドやスポンジを使って、オープン庫内のすべての面とオープンのドアの内側の汚れを落とします。</p> <p><b>注意：</b> 上面（ジェットプレート）やドアシールをこすらないでください。また、<b>金属製のたわしは使用しないでください。</b></p>
<p>6.</p>		<p>湿らせた清潔な布で、すべての面を拭きます。</p> <p>新しい清潔な布やペーパータオルで水分を拭き取ります。</p> <p>必要に応じて、湿らせた布でオープン庫内の上面やドアシールを拭き汚れを落とします。</p>
<p>7.</p>		<p>緑のチェックマークを押して、オープン庫内のお手入れを終了したことを確認します。</p> <p><b>保護剤（オープン保護剤）</b>の塗布を指示するプロンプトが表示されます。</p> <p><b>注意：</b>保護剤のご利用はオプションですが、次回のお手入れの負担を軽減するために推奨されています。</p> <p>以下の手順8～11にしたがって、オープン保護剤を塗布してください。</p> <p style="text-align: center;">または</p> <p>2つ目の緑のチェックマークを押して保護剤の塗布順をスキップし、調理プレートとお手入れのために取り外した他の部品を元に戻し、手順12に進み、残りのお手入れ手順を完了してください。</p>

### 保護剤の塗布（オプション）

<p>8.</p>		<p>Merrychef認定の保護剤を清潔なスポンジに吹き付けます。</p> <p><b>注意：</b> <b>保護剤はお手入れ後のオープンのみに</b> <b>使用してください。</b> <b>必ずオープン庫内の金属製の面のみに保護剤を塗布してください。調理プレートを元に戻す前に必ずオープンを加熱してください。</b></p>
-----------	---	---

<p>9.</p>		<p>オープン内部のすべての面に保護剤を軽く伸ばして塗布します。上面（ジェットプレート）とドアシール（赤で示されている部分）には塗布しないでください。</p>
<p>10.</p>		<p>オープンのドアを閉じます。</p>
<p>11.</p>		<p>緑のチェックマークを押して、保護剤の塗布を終了したことを確認します。</p> <p>緑のチェックマークを押すと、エアフィルターのお手入れを指示するプロンプトが表示されます。</p>

エアフィルターのお手入れ

12.



オープンしたドアを閉じた状態で、ドアの下にあるフェースプレートを下方向に傾けます。

13.



軽く引き出し、エアフィルターを取り外します。

14.

湿らせた布でエアフィルターを拭くか、石鹼水で洗い、しっかりと乾かします。

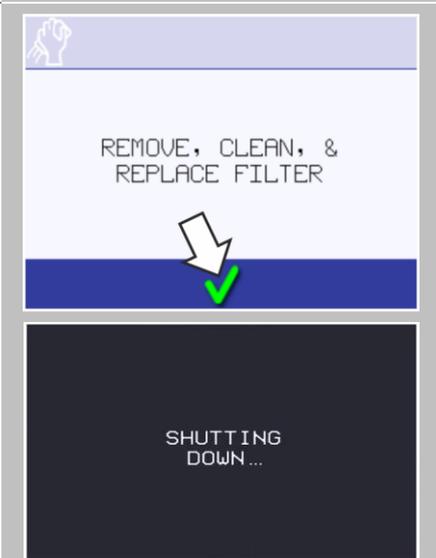
15.

エアフィルターを元通り取り付け、フェースプレートを元の位置に戻します。

16.

オープンした外側を湿らせた布で拭きます。

17.

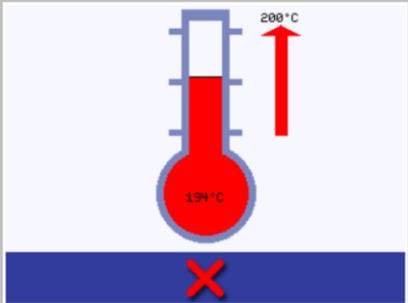


緑のチェックマークを押して、エアフィルターのお手入れを終了したことを確認します。

オープンの電源がオフになります。

保護剤を使用していない場合、これで再びオープン調理をお使いいただけます。保護剤を塗布した場合は、保護剤を硬化させる必要がありますので、手順18にお進みください。

保護剤の硬化

<p>18.</p>		<p>オーブンの電源を入れます。</p> <p><b>注意:</b> エアフィルターが元通り取り付けられていない場合には画面に警告が表示されます。エアフィルターを元通り取り付け、緑のチェックマークを押して操作を続けます。</p>
<p>19.</p>		<p>オーブン庫内を予熱します。</p> <p>保護剤を塗布した場合、プリセットされた動作温度に達した後、約30分で保護剤が硬化します。</p> <p>保護剤は、硬化すると薄い茶色に変色します。</p>
<p>20.</p>		<p>洗って乾かした調理プレートとお手入れのために取り外した他の部品を元に戻します。</p> <p>調理プレート/ワイヤーラックが、オーブン庫内のサポートスタブ部品に取り付けられていることを確認します。</p> <p>これで再びオーブンを調理にお使いいただけます。</p>

## 10 装置の使用停止と廃棄

### 本章の目的

---

本章は、オープンレンジの使用呈しと廃棄の方法を記載します。

### 目次

---

本章には以下のトピックが含まれます：

	ページ
装置の使用停止における安全	105
装置の使用停止と廃棄	106

## 10.1 装置の使用停止における安全

### 装置の使用停止を安全に行うために

---

作業を開始する前に、「装置の使用停止時の危険と安全上の注意」（33ページ）に記載された危険をよくお読みください。

### 装置の使用停止を行う作業者の条件

---

使用停止の作業は、特別な操作状況（例：安全カバーが取り外された状態）で行われるか、操作者に対する要件を超える関連する資格および装置の専門知識を有する作業者が必要となります。

作業者は以下の要件を満たす必要があります：

- 認定サービス業者の資格を有する社員であること。
- サービス技術者としての関連するトレーニングを受けていること。
- 装置に特化したトレーニングを受けていること。

### 個人用保護具

---

関連する作業について、「安全にお使いいただくために」（14ページ）の「個人用保護具」（37ページ）で指定された個人用保護具を着用する必要があります。

### 装置の使用停止を行う際の安全確保と責任を伴った作業に関する規則

---

ご自身と他の方に対するリスクを避けるため、以下の規則に従ってください：

- 事故の可能性を減らすため、キッチンの床は常に乾燥させてください。
- オープンレンジの装置のドアは、装置を廃棄する際は必ず閉じてください。
- 調理室内に食材を残さないでください。

### 通電部品

---

#### DANGER

##### 通電部品と緩んだケーブルによる感電の危険

安全カバーが開いている場合、通電部品に触れることにより感電の危険があります。

- ▷ 電気システムに対するすべての作業は、認定されたサービス業者の有資格の電気技術者のみが行えます。

### 重量物の移動

---

#### WARNING

##### 不適切な持ち上げによる怪我の危険

装置を持ち上げる際、装置の重量は、特に上半身の傷害の原因となります。

- ▷ 装置はフォークリフト/パレットトラックを使用して移動してください。
- ▷ 装置を持ち上げる際、装置の重量を考慮して（年齢と性別によって異なります）、十分な人数の作業者を確保してください。現地の労働安全法を順守してください。
- ▷ 個人用保護具を着用してください。

## 不適切な支持面

---

### ▲WARNING

**装置が傾いたり落下した場合に身体の一部が押しつぶされる危険**

装置が傾いたり落下した場合、身体の一部が押しつぶされる可能性があります。

▷ 装置は不安定な支持台の上には絶対に置かないでください。

## 10.2 装置の使用停止と廃棄

### 要件

---

装置を使用停止にする前に、装置が給電されていないことを確認してください。

### 装置の使用停止

---

装置を使用停止にする場合、装置のセットアップと設置に関する手順に逆向きに従ってください（「設置」(49ページ)、「装置の移動」(39ページ)、「装置のセットアップ」(42ページ)を参照してください。

すべての電気接続を外すまで、装置を動かさないでください。

### 廃棄

---

本製品の正しい廃棄方法（廃電気・電子製品）

欧州連合および別の回収システムを採用するその他の欧州諸国に適用されます。



製品または付属文書にこのマーキングが表示されている場合、製品寿命終了時に他の家庭ごみと共に廃棄してはならないことを示します。無分別な廃棄によって環境や衛生に害を及ぼさないよう、本製品を他の種類の廃棄物とは区別し、責任をもってリサイクルすることにより、原材料の持続可能な形での再利用を推進することができます。

一般家庭のユーザーは、本製品を環境に配慮した方法でリサイクルする場所と方法について、本製品を購入した小売店や地方自治体の役所までお問い合わせください。

ビジネスユーザーは、供給業者にお問い合わせの上、購入契約の規約を確認してください。本製品は他の民生廃棄物と共に廃棄しないでください。

## 11 技術データ

### 本章の目的

---

本章はオープンレンジの技術データを記載します。

### 目次

---

本章には以下のトピックが含まれます：

	ページ
技術データ	108
寸法図	110

## 11.1 技術データ

### 寸法と重量

幅				
梱包材を含む	[in]	21.1	[mm]	535
梱包材を取り外した装置	[in]	14.0	[mm]	356
高さ				
梱包材を含む	[in]	33.5	[mm]	850
梱包材を取り外した装置 (「クラシック」外装)	[in]	24.4	[mm]	620
梱包材を取り外した装置 (「トレンド」外装)	[in]	25.4	[mm]	644
奥行				
梱包材を含む	[in]	35.3	[mm]	895
梱包材を取り外した装置 (ドアを閉めた状態)	[in]	25.0	[mm]	636
重量				
高出力バージョン (梱包材を含む)	[lbs]	155	[kg]	70.4
高出力バージョン (梱包材を除く)	[lbs]	134	[kg]	61.0
標準出力バージョン (梱包材を含む)	[lbs]	135	[kg]	61.1
標準出力バージョン (梱包材を除く)	[lbs]	114	[kg]	51.7
安全間隙				
後方/右側/左側	[in]	0	[mm]	0
上部 (換気用)	[in]	2	[mm]	50

### 電気接続負荷定格 - 高出力バージョン

電源	1N <sup>~</sup> 220-230V 50Hz	2N <sup>~</sup> 380-400V 50Hz	1N <sup>~</sup> 220V 60Hz	2 <sup>~</sup> 200V 50/60Hz
使用接続	L + N + E	L1 + L2 + N + E	L + N + E	2P + GND
方式	単相	2相	単相	2極
定格消費電力 [W]	6000	2500 + 3300	6000	6000
各相における定格電流 [A]	32	16 / 32	32	32
出力				
定格対流熱出力 [W]	2200	2200	2200	2000
定格マイクロ波出力 (I [W] EC 705) 100%	2000	2000	2000	2000
定格コンビネーションモード出力 [W]	2200 + 2000	2200 + 2000	2200 + 2000	2000 + 2000

### 電気接続負荷定格 - 標準出力バージョン

電源		1N <sup>~</sup> 220-230V 50Hz	1N <sup>~</sup> 220-230V 50Hz	1N <sup>~</sup> 220V 60Hz
使用接続		L + N + E	L + N + E	L + N + E
方式		単相	単相	単相
定格消費電力	[W]	2990	3680	2860
各相における定格電流	[A]	13	16	13
出力				
定格対流熱出力	[W]	2200	2200	2200
定格マイクロ波出力 (IEC 705) 100%	[W]	1000	1000	1000
定格コンビネーションモード出 力 (対流熱 + マイクロ波)	[W]	900 + 1000	1300 + 1000	900 + 1000

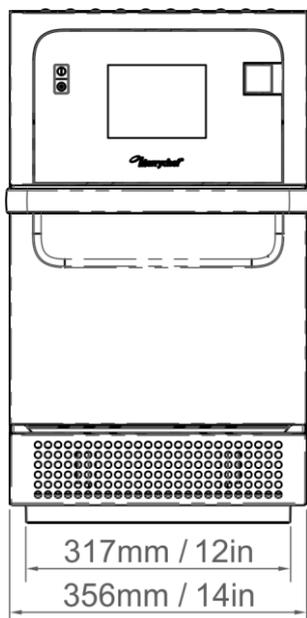
### 規格への適合

保護等級	IPX0
騒音放出	最大70 [dBA]
認定マーク	
安全試験	CE、CB (IEC)
衛生	UL-EPH (NSF/ANSI 4)

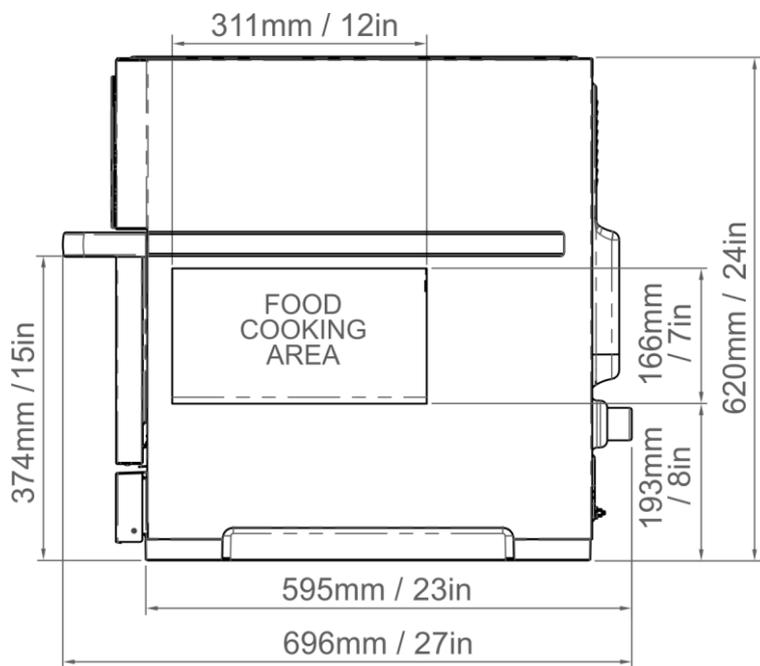
## 11.2 寸法図

eikon e2s

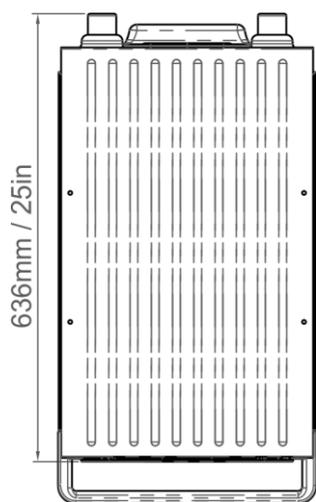
前面図 (ドアを閉めた状態)



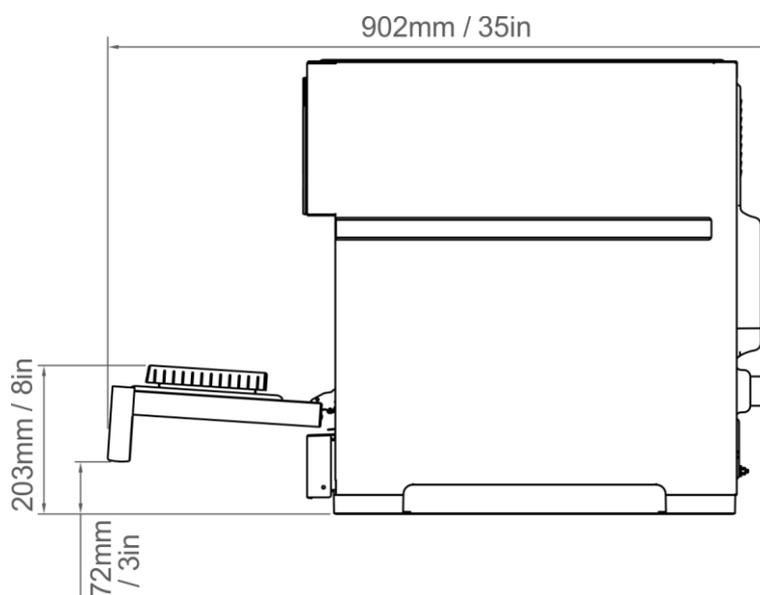
調理室寸法 (ドアを閉めた状態)



上面図 (ドアを閉めた状態)



右側面図 (ドアを開いた状態)



## 12 サービス情報

### 本章の目的

---

本章は、サービス作業中に従うべき正しい手順、装置に起こりうる故障の一覧、操作中に発生する可能性のあるエラーを記載します。

### 目次

---

本章には以下のトピックが含まれます：

	ページ
保証情報とカスタマーサービスへの連絡	112
故障の対応：操作中の問題	113

## 12.1 保証情報とカスタマーサービスへの連絡

### 保証情報

---

オープンレンジの保証の下での請求を行うには、認定サービス業者の有資格のサービス技術者が設置・操作マニュアルの指示に従って装置を設置していることが条件となります。

保証では、不適切なセットアップ、設置、使用、清掃、洗剤の使用、サービス作業、修理に起因する破損は補償の対象となりません。

### 必要な情報

---

当社のカスタマーサービスへのご連絡には、以下の装置データを準備してください。

- 使用中の装置の製品番号（「オープンレンジの識別情報」(8ページ)を参照してください)
- 装置のシリアル番号（「オープンレンジの識別情報」(8ページ)を参照してください)

### お問い合わせ先

---

Welbilt UK Ltd.  
Ashbourne House, The Guildway,  
Old Portsmouth Road  
Guildford, GU3 1LR  
United Kingdom

#### 代表

---

電話 (本社)	(+44) (0) 1483 464900
---------	-----------------------

---

Fax	(+44) (0) 1483 464905
-----	-----------------------

---

ウェブサイト	www.merrychef.com www.welbilt.com
--------	--------------------------------------

---

## 12.2 故障の対応：操作中の問題

### 故障発見チャート

高い水準でオーブンが稼働し続けるよう細心の注意が払われていますが、サービス担当者へのご連絡の前に、チャートを参照し、問題が簡単に解決できるかどうか確認してください。

問題	可能性のある原因	対処法
装置が作動せず、表示画面は暗いままである	装置に電源が供給されていない	<ul style="list-style-type: none"> <li>電源が切断されていないか確認してください。</li> <li>絶縁スイッチがオンになっているか、装置が正しく電源に接続されているか確認してください。</li> <li>装置の電源スイッチがオンになっていることを確認してください。</li> </ul>
画面の一部が動作しない	アクセス権限がない	権限を持つユーザーにお問合せください。
画面に警告メッセージが表示される	詳細内容が画面に表示される	表示された指示に従ってください。
食材が適切に調理されない	<ul style="list-style-type: none"> <li>装置に汚れが付着している</li> <li>食材が正しい温度に加熱されない</li> <li>修正された、または間違っただプログラムが選択されている</li> <li>食材が覆われている</li> <li>食材が早く取り出された</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>装置を清掃してください（「清掃手順」(99ページ)を参照してください）</li> <li>正しい調理プログラムを使用してください。</li> <li>食材の包みを除去してください。</li> <li>すべての調理手順を実施したか確認してください。</li> </ul>
調理が完了しない	<ul style="list-style-type: none"> <li>警告メッセージが表示される</li> <li>装置のドアが開いている</li> <li>エアフィルターが存在しない、または適切に取り付けられていない</li> <li>装置の過熱</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>装置のドアを閉じてください。</li> <li>エアフィルターを正しく取り付けてください。</li> <li>装置を冷却してください。</li> <li>排気口周辺の障害物をすべて取り除いてください。</li> </ul>
画面にエラーコードが表示される	装置の異常動作	エラーコードを記録し、サービス担当者までご連絡ください。



オーブンレンジ

Merrychef eikon e2s

部品番号 32Z3923 - CE, JA

第05版 - 03/2019

Welbilt is one of the world's largest manufacturers and suppliers of professional gastronomic appliances.  
We supply our customers with energy-saving, reliable and market-leading technologies from a single source.

If you want to find out more about Welbilt and its company brands,  
please visit us at [www.welbilt.com](http://www.welbilt.com)

